生活クラブ生活協同組合 × 公益財団法人かながわ生き活き市民基金

新型コロナ対応 緊急応援助成

第4次の助成団体紹介



子ども食堂、地域食堂



学習支援、子育て支援、居場所



フードバンク、フードパントリー



セミナー・相談事業、障がい者支援

目 次

公益財団法人 かながわ生き活き市民基金とは	4
新型コロナ対応緊急応援助成について	5
新型コロナ対応緊急応援助成(講評)	6
【新型コロナ対応緊急応援助成 助成団体】	
<子ども食堂、地域食堂>	
駒岡丘の上こども食堂	
NPO 法人 宮ノマエストロ	8
特定非営利活動法人 湘南食育ラボ	9
あさみぞみんなのコミュニティ	10
ドリームセンターこどもカフェ	11
幸町こども食堂おいしいね	12
キッズカフェ杉田	13
いわとともしびチーム	14
てらこや食堂ラッキーズ	15
特定非営利活動法人 報徳食品支援センター	16
長後こども食堂	17
コガスクール	18
地域交流サロンさざなみ	19
コミュニティしんばし食堂	20
ひよし食堂の会	21
「あいおい」みんなの食堂	22
<フードバンク、フードパントリー>	
特定非営利活動法人 サテラ	23
たすけあい	24
フードコミュニティ	25
NPO 法人 フードバンク浜っ子南	26
特定非営利活動法人 神奈川フードバンク・プラス	27
特定非営利活動法人 スペースナナ	28
一般社団法人 Brazilian Business Group	29
<学習支援、子育て支援、居場所など>	
育ち合い広場 てとてとて	30
NPO 法人 ワーコレたんぽぽひろば	
特定非営利活動法人 アスリード	
ラフェリーチェ	
- ファエケーテエ - ふれあいっこ三ツ沢	
特定非営利活動法人 学習支援ボランティア和絆	
	50

	特定非営利活動法人 ぜんしん	36
	橄欖屋 (カンランヤ)	37
	特定非営利活動法人 まなひろ	38
<	(セミナー・相談事業、障がい者支援など>	
	一般社団法人 みんなのレモネードの会	39
	特定非営利活動法人 湘南 DV サポートセンター	40
	NPO 法人 しえんのまなび舎	41
	一般社団法人 湘南学校教育研究所	42
	特定非営利活動法人 DV対策センター	43
	リンパ浮腫ネットワークジャパン	44
	聖マリアンナ医科大学病院乳がん体験者の会マリアリボン	45
	ユーコープくらしたすけあい活動「ちょボラ」	46
	ぐるーぷ・ちえのわ (ちえのわ第2ホーム)	47
	ユニバーサル絵本ライブラリー UniLeaf	48
	特定非営利活動法人レジスト	49
	愛川芸術就継 B みらいのあいの家設立準備室	50
	特定非営利活動法人 南えびなスポーツクラブ	51
	特定非営利活動法人 リンクトュミャンマー	
	一般社団法人アマヤドリ ····································	5 3
	ちゃり Tea 屋♪	54
	Café de FUKUSHIMA ·····	55
	新型コロナ緊急応援助成(第1次~第4次)の取り組み	56
	寄付文化の拡がりに皆様のご協力を ~市民基金を支える寄付方法~	59

公益財団法人かながわ生き活き市民基金とは・・・

◆ 成り立ち

食料・環境・福祉の分野での問題解決を、市民参加型ですすめてきた生活クラブ生活協同組合 (1971 年創立) は、90 年代初頭から、市民が時間・知恵・労力・いくばくかのお金を出し合って当事者となる参加型福祉運動を実践してきました。その担い手は主にワーカーズ・コレクティブという働き方を行う女性たちでした。

1990 年代当時、これら女性たちの意志ある社会貢献事業に資金を貸す金融機関は無いため、自前の財源による市民バンク(「女性・市民コミュニティバンク」の前身)をつくり、1998 年から市民事業への融資を始めました。

生活クラブ生協は 2003 年に組合員に呼びかけて、福祉たすけあいにかかわる市民の福祉活動・ 非営利の市民事業の基盤造成・活動支援を行うための組織「生活クラブ福祉たすけあい基金」を 設立しました。そして「生活クラブ福祉たすけあい基金」の 10 年間の助成活動の実践を経て、 2013 年にはこの事業を地域社会の中に押し出し、「公益財団かながわ生き活き市民基金」を設立 しました。

◆ ミッション

私たちの社会は、格差・貧困が野放図にすすみ、個人の権利や尊厳が、労働・教育・環境・平 和など生活の中心分野で損なわれつつあります。女性や若者、こどもや障がいを持つ人が生きに くい社会になっています。

かながわ生き活き市民基金は、ひとりでは支えきれない地域社会の課題の解決を、お互い様から始め、更に相互扶助に留めず、人・団体・活動を、お金や情報の循環でつなぎ、市民が持つ知恵・労力・時間・いくばくかのお金などの社会資源を拠出し合い、市民が共に力を合わせ、自立した「地域市民社会」をめざします。

◆基金の事業・活動

かながわ生き活き市民基金の中心事業は、市民による寄付造成とこれを財源とした助成を 通じた市民活動・事業への支援です。現在3つの助成プログラムを行っています。

福祉たすけあい基金 (2015 年度から通常型助成とスタート助成を実施) は、1万人を超える 意思ある生活クラブ組合員の月 100 円寄付を基本財源とした助成プログラムです。事業指定助成プログラム「エラベル」は、登録した団体が寄付募集活動を行い、財団はこれを支援します。 オーダーメイドプログラム (2015 年助成の「子どもいきいき助成」) は寄付拠出者が助成プログラムを指定します。

助成事業を中心に、研修セミナ―事業、相談・助言事業、広報発行事業を行っています。



新型コロナ対応緊急応援助成について

新型コロナウィルス感染が拡大し、子どもや高齢者への影響が広がっています。社会的に弱い 立場の人々にしわ寄せがいき、生活基盤を失う人が増え、生活困窮者が増えています。このよう な情勢のなかで、私たち、かながわ生き活き市民基金は、緊急助成プログラムを設置し、子ども や社会的弱者への支援活動を行っている市民活動団体への緊急応援助成を実施します。

対象となる団体、事業

<対象となる団体>

神奈川県内に事務所を置く非営利団体 (法人格の有無は問いません)。

<対象となる事業・活動>

新型コロナウィルスの影響が長期化する中、地域で課題解決に取り組む活動・事業を支援 します。(例えば、以下の活動を行っている団体を支援します)

- ① 地域のフードバンクによる生活困窮者への食料支援活動
- ② 子ども食堂・地域食堂・居場所運営団体等による支援活動
- ③ 無料学習支援団体による、オンライン教材作成、オンライン学習など。
- ④ 子どもを持つ母親を対象とした相談事業
- ⑤ DV 被害者への相談・支援活動
- ⑥ 障がい者、高齢者などの生活を支援する活動
- ⑦ 外国人への相談・情報提供、食支援活動
- ⑧ 病気により被っている悩みや生活上のハンディを克服することを目的とする、当事者 または支援者の活動。
- ⑨ その他、本プログラムの趣旨に合った事業・活動

助成額

<第4次>

- ① 助成総額 予算 500 万円、実績 4,026,437 円 ② 助成上限額 10 万円(1 団体)
- ③ 事業対象期間 2021年1月から3月に実施する事業・活動

助成の原資について

生活クラブ組合員カンパ (3,412,000円) および福祉たすけあい基金助成積立金の活用

選考委員(敬称略)



委員長 手塚 明美 一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ理事長

副委員長 君島 周子 生活クラブ生活協同組合副理事長

田中 夏子 イタリア協同組合研究者/農業者

川岸 卓哉 弁護士/(特非)原発ゼロ市民共同かわさき発電所理事長

友澤 ゆみこ (特非) ピッピ・親子サポートネット 理事長

小田 鈴子 元逗子市副市長/元逗子市議

高村 文子 横浜YMCA 国際・地域事業担当チーフディレクター

鈴木 薫 かわさき生活クラブ生協理事

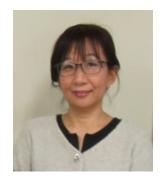




市民活動を支える寄付参加を広げよう

2021 年 1 月 選考委員会副委員長 君島 周子

2020年12月22日の選考委員会を経て第4回臨時理事会にて、新型コロナ対応第4次緊急応援助成を決定しました。50団体に総額4,026,437円の助成となりました。継続助成申請の団体が多い中、新規団体も17団体あり、コロナ禍で活動の苦戦を強いられている団体はまだまだあるということ、そして(公財)かながわ生き活き市民基金の活動、および本新型コロナ対応緊急応援助成の情報が神奈川県内に広がっていることを感じました。



第4次に向けてはコロナ第2波・3波を予測し、8月に生活クラブ神奈川で

緊急カンパを行うことを決定しました。コロナに立ち向かいながら地域のたすけあいを地道に進める市民団体や非営利組織を支援しようという「新型コロナ対応緊急応援カンパ」です。第4次助成の原資とすることを目的に、1口千円で目標額300万円を目指したところ、共感が広がり、11月の3週間という短い期間にもかかわらず、2,205名の組合員参加で目標を上回る3,412,000円というカンパ結果となりました。コロナ禍で困窮や生きにくさが増したことへの気づきから、自分ができることで地域のたすけあいに参加しようと、カンパ参加が広がったのではないかと思います。

今年 1 月、再び医療体制のひっ迫から緊急事態宣言が発令されました。これにより廃業や失業の増加が予測され、特例措置や助成の対応がなされていますが、時間がかかることもあり、地域の市民活動によるたすけあいがより求められるのではと思います。おおぜいの寄付によって緊急支援は実現しました。より多くの市民団体が活動を広げられるよう、今後も継続寄付などへの参加も広がればと思います。ご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

公益財団法人 かながわ生き活き市民基金 理事 生活クラブ生活協同組合 副理事長

駒岡 丘の上こども食堂(横浜市) 代表 七田 直樹 助成金額 72,000円

団体紹介

設立年月

2016年4月より活動開始

団体の目的・活動内容

こどもの貧困対策の一助となればとの思いから こども食堂を開始、月2回(第1、3木曜日)開店。 こども食堂としての食事の提供、フードバンクその 他との提携による食材等の配布(ミニフードパント リー)

活動歴

2016年4月より、2021年3月時点で120回実施

団体情報

住所: 〒230-0071

横浜市鶴見区駒岡4-28-5 横浜市駒岡地区センター内

TEL:045-571-0035

E-mail: shichida_n@komaoka-cc.com URL: http://komaoka-cc.com

★助成した事業・活動

こども食堂

★内容

月2回開催する【駒岡 丘の上こども食堂】 開店時にお弁当、その他食材等を配布

★助成対象

食材費(お弁当代)

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

今回の助成金は、月2回のこども食堂の内の1回をお 弁当手配にする事により、お手伝いして頂くボランティ アさん達の負担を軽減し、コロナ感染リスクを軽減する との事で考えておりましたが、緊急事態宣言の発出に より、当初予定の3回から、5回全てをお弁当手配に変 える事となり、資金的に問題が出てきてしまいました。 (横浜市より市保有の施設を使用しての会食が禁止と なった為)ただし今回も緊急事態宣言下で、多くの企 業様、団体様から、食材のご寄付のご連絡を頂く事が でき、お弁当以外に色んな種類の食材やお野菜等を、 参加者にお渡しして、お持ち帰りして頂く事が出来まし た。

手作りの食事を、会場でお召し上がりいただき、こども達と保護者が和気あいあいと過ごすという、本来のこども食堂の意義の一つは今回の緊急事態宣言下では、無理な事となりましたが、ご参加頂きました方々に少しでもお役に立つことが出来たのではと感じております。



NPO法人 宮ノマエストロ(横浜市) 代表 高橋 裕子 助成金額 72,000円

団体紹介

設立年月

2018年9月

団体の目的・活動内容

すべての世代が緩やかに繋がり、困ったときには 支えあえ、お互いを大切にしながら地元への愛着を 深めることを目的とします。

活動歴

横浜市介護予防補助事業、子育て支援、フードパントリー、子ども食堂、各種イベント他

団体情報

住所: 〒245-0013

横浜市泉区中田東4-59-41

TEL:045-884-0246

Mail:miyanomaesutoro@yahoo.co.jp

URL: https://miyanomaesutoro.amebaownd.com/

★助成した事業・活動

子ども食堂・地域の居場所

★内容

一人暮らし高齢者、子育て世帯への食支援 事業・活動

★助成対象

食材費、消耗品費、ボランティア活動費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

ひとり暮らし高齢者は引きこもりも多く、特に男性は 出てきていただくのが難しいのですが、作ったお弁当 無料の回覧板でたくさんの方が予約してくれました。 その方がテラスのことを知ってくれ、子ども食堂など利 用してくださるようになりました。

地域で高齢者、子どもを境なくお互いに見守り、見守られる場にしていきたいと思います。助成金があったおかげで、そのきっかけ作りができたと思います。 ありがとうございました。







特定非営利活動法人 湘南食育ラボ(藤沢市) 代表 小田 拓也 助成金額 75,000円

団体紹介

設立年月

2013年1月

団体の目的・活動内容

成長期である子ども及びその保護者等に対して、 食に関する教育の推進事業を行い、安全・安心な食 生活により人間力を養い、子どもの健全育成に寄与 することを目的とし、子どもの居場所を運営する団 体と協力

活動歴

2013 年 1 月 NPO 法人湘南食育ラボ設立 2013 年 7 月 学校法人湘南学園と『食に関する 教育事業』等に関する「協定書」締結

2013年 9 月 学校法人湘南学園のカフェテリア運営を受託(現在に至る)

2018年 8 月 大磯中学校給食支援事業 2020年 3月 かながわSDGsパートナー登録 (第3期登録)

団体情報

住所: 〒251-8505

藤沢市鵠沼松が岡3-4-27

TEL:0466(90)5474

URL: http://www.shonan-slab.com/

★助成した事業・活動

障がい児の放課後等デイサービスでのお弁当 の提供

★内容

肢体不自由児へのお弁当の提供

★助成対象

食材費、消耗品費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

この度助成を受けることが出来ましたことにより、 緊急事態宣言解除後から暫く経ったこの3か月も 同じ価格でお弁当を提供することができ、多くの児 童や保護者、職員の方々に感謝の声をいただきま した。今回は一部期間が冬休みに重なったことも あり、多くのお子さんにご利用いただきました。心 より感謝申し上げます。今現在もコロナウィルス終 息の見通しが立たない中、毎日のお弁当作りがな くなることで保護者の方の負担も少しは減っている との声もいただき、私たちもたいへん喜ばしく思っ ています。

そんな中で、ラウレアに通う子どもたちの中には 通常の弁当では食べられない児童が多くいること に気づきました。今後はそのような子どもたちにも おいしく食べていただけるようなメニューを開発し たり、食べやすい食形態での弁当提供など、今ま で以上に幅広い人たちの役に立つ組織になってい きたいと考えております。4月からは高校卒業後の 成人の預かりも始まり、ペースト食等にも対応し始 めています。

このようなご時世の中助成をいただき、誠にありがとうございました。これからも一人でも多くの子どもたちの笑顔に繋がる活動を目指していきます!







あさみぞみんなのコミュニティ(相模原市) 代表 永野 寿郎 助成金額 70,000円

団体紹介

設立年月

2017年8月

団体の目的・活動内容

- ・福祉的課題を抱える子どもたちへの食事提供及び 宿題等に関する学習支援を実施
- ・食を通じてのコミュニティにより、社会との共生を 学ぶための居場所つくり
- ・こどもからお年寄り、障害のある方問わず、異世代が交流する地域コミュニティを確立する

活動歴

【開催頻度】

月2回第2と第4日曜日の午前11時から14時 【開催場所】

下原公会堂

団体情報

住所:相模原市南区

TEL:090-49131-3517(中臺)

Mail: asamizo.community.180701@gmail.com URL: http://www.sagamiportal.com/hp/

★助成した事業・活動

コミュニティ食堂、居場所活動

★内容

お弁当の無料配布、フードパントリー

★助成対象

感染対策費、食材費、スタッフ活動費、 広報費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

新型コロナの影響で外出自粛が発出される中で、 少しでも地域のコミュニケーションが図れるプラット ホームつくりを心掛けました。

食堂の開催は感染防止のため中止しましたが、 お弁当の配布や無料のフードパントリーを実施、 毎回50~30名の参加がありました。

月に1度の食堂のほか、平日の10:00~16:00 で、コミュニティカフェを開催し、地域の皆さんが集 い、コミュニティが図れるよう仕組みを作ることが 出来ました。

令和3年度からはコロナ感染状況を見つつ、食 堂やカフェの回数を月2回以上開催できるよう、体 制を作っていきたい。



ドリームセンターこどもカフェ(藤沢市) 代表 藤村 良彦 助成金額 75,000円

団体紹介

設立年月

2005年4月

団体の目的・活動内容

2005年藤沢市において子供たちの交流の場ができたことにより、親睦と子供たちの健康的な成長を目的として活動を始めました。

活動歴

2017年1月より毎月1回子供たちの夕食を無料で提供する「こどもカフェ」を開始。2019年よりフードバンクかながわより提供いただき、「こどもカフェ」の充実に加え、生活困窮者への食糧の提供を始めました。

団体情報

TEL:

住所: 〒251-0052

藤沢市藤沢545-48-101

オリーブチャペル内 090-1052-1730

Mail: f-olive@d3.dion.ne.jp

★助成した事業・活動

こどもカフェ、子ども食堂

★内容

自殺予防のための電話相談、こどもカフェ

★助成対象

研修費、イベント企画費、食材費、 物品購入費、感染対策費等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

今回は自殺予防の無料電話相談継続のため助成をいただき、増えてきている電話相談に対応しました。スタッフが研修を受けることができたことは、働きを継続させるために大きな励みとなりました。

子ども食堂が開催できませんでしたが、食料品無料提供の『フードパントリー藤沢』としてさらに多くの方々にご利用いただける体制を整えることができました。食料品を提供くださる方々もおられ、支援の輪が広がっています。小さなお子様とごー緒に食品を受け取りに来られる方の「本当に助かりました」という一言にスタッフー同慰められています。

また、春のイベントであるイースターを、分散予約制によって開催することができました。二酸化炭素測定器を購入しましたので、適切に換気を心がけることができました。子どもたちの笑顔があふれる時間を持つことができました。









幸町こども食堂おいしいね(茅ヶ崎市)代表 岸 達男 助成金額 90,000円

団体紹介

設立年月

2019年6月

団体の目的・活動内容

こどもが地域の中で見守られ、安心してご飯を食べることができる場所です。子育てと仕事、子育てと介護など時間に追われ忙しい保護者の方たちを応援し、支えたいと思っています。

活動歴

月1回のこども食堂の開催

団体情報

開催場所 茅ケ崎市幸町24-6 LAST50セント TEL: 070-6516-8042(代表 岸達男) Mail: saiwaikodomo2@gmail.com

URL: Facebook 幸町こども食堂おいしいね

★助成した事業・活動

子ども食堂

★内容

テイクアウト弁当と食材配布活動

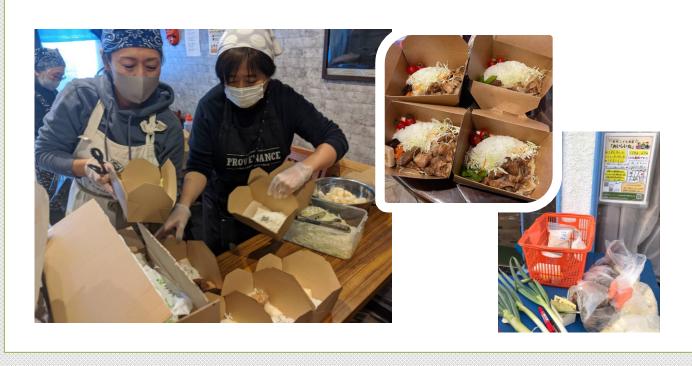
★助成対象

食材費、会場費、消耗品費など

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ感染症が1年と長引く中、2回目の緊急事態宣言は、食堂を熱望していたのに休止せざるをえなく、スタッフも利用者も落胆しました。そんな親子たちに、平常時との違いのお困りや要望、感想などをアンケートをとり、冊子にまとめ共有しました。

助成金をいただき、多くの食数を作ることができ、また地域のお店から食材を購入することもできて大変有難いと感謝しています。また、冷凍食材、野菜やお菓子、カンパ金などもいただき、私たちこども食堂の知名度と必要性が地域に根付いてきたと感じています。



キッズカフェ杉田(横浜市)

代表 久保田 顕助成金額 58,000円

団体紹介

設立年月 2017年4月

_...

団体の目的・活動内容 子どもの孤食防止と居場所作り

- ・一緒に食事を共にして会話やゲーム、お遊びを することで信頼関係を築き、学校で悩みを抱える 人間関係について下支えをしていく。
- ・親子関係での悩みも共有し、親にとっても良い情報交換の場所としていく。

活動歴

毎月1回(第四土曜日)に開催。 他にも餅つき大会 サンマ焼、スイカ割、植物体験 室内ではおもちゃ遊び、屋上ではシャボン玉や 流しそうめんなども

団体情報

住所: 〒235-0026

横浜市磯子区中原4-24-1

TEL: 045-772-1716

Mail: psalms027@gmail.com

URL:

https://sugita-christ-church.jimdo.com/kidscafe/

★助成した事業・活動

子ども食堂

★内容

支援の必要な子どもたちへの食提供

★助成対象

物品購入費、感染対策費、食材費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

今回の「新型コロナ対応緊急応援助成(第4次)」を受けられたことにより、このコロナ禍の中でも継続して弁当配布や食品提供の応援活動を続けることができました。また参加した中には事情があって食品や弁当を家に持ち帰れない子ども達もいます。その子たちのためにアクリル板をたてて感染対策をした食事場所を提供することができました。このようなコロナ禍では、応援を必要とするご家庭から求められるニーズが様々ありました。そのような切なる要望にも、今回の助成を頂くことを通して少しずつ答えることができるようになり、必要なご家庭にとって良い応援をすることができるようになったことは感謝です。本当にありがとうございました。



いわとともしびチーム(横須賀市) 代表 加藤 路子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 1989年9月

団体の目的・活動内容

地域の課題にできるときに、できる事を!こども サロンの目的は以下の3点です。

- ①手作り弁当を通して、地域のジジ・ババの味 を食べて、味覚体験を広げる。
- ②感染症の予防を意識した方法で、こども達が つながりを感じることが出来る。
- ③With COVID-19 時代の世代間交流と地域でのこどもの見守りそのほかの活動)・ペンギン広場(親子サロン)月1回・高齢者交流会・一人暮らし高齢者の手芸の部屋出張支援(庭の手入れ・ゴミ捨て・子育て個別支援・受診、買い物支援・等)

活動歴

2017年こどもサロン実施 2020年3月弁当配布・フードパントリー+お楽しみ

団体情報

住所: 〒239-0844

横須賀市岩戸3-26-9

TEL: 046-848-0408

Mail: acchon-burike_n.n@jcom.home.ne.jp

★助成した事業・活動

こどもサロン

★内容

こどもサロンでの弁当配布、イベント開催

★助成対象

食材費、感染対策費、物品購入費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

透明パーテーションや、お弁当にするための容器代など、COVID-19の感染予防費用が例年になくかさんだので、大変助かりました。保護者からのメッセージは活動の原動力です。多くの制限がある中で工夫を凝らし続けてきた甲斐がありました。今後は、スタッフの高齢化(60代後半~70代中心)、増加する参加者にどのような基準で(抽選・小学生中心等)対応していくかが課題です。参加者の保護者で協力を申し出てくださる方がいることが、大きな希望になっています。



3月の子どもサロンは「キャベツ狩り」



収穫したキャベツで荷車はいっぱい!



キャベツの切り方、注意事項の説明を受け、いざキャベツ畑へ!



袋詰め、箱詰めも終わり、お弁当配布



番外編:大きな大根にびっくり!

てらこや食堂ラッキーズ(相模原市) 代表 石井 とし子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2019年11月

団体の目的・活動内容

小中学生を対象に無料塾と無料食堂を毎週 平日に開催

活動歴

土日祝祭日を除く平日 無料塾:午後4時半~6時 無料食堂:午後6時~7時

団体情報

住所: 〒252-0303

相模原市南区相模大野6-15-27

TEL: 090-2324-3394

URL:http://ishiitoshiko.com/

★助成した事業・活動

子ども食堂・学習支援

★内容

週5日(月~金)小学生・中学生を対象とした学習支援と夕食支援

★助成対象

食材費、感染対策費、消耗品費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

今回も助成金をいただきまして本当に感謝申 し上げます。 お金にゆとりができましたので、 生の魚を買えます。今までは冷凍ものでした。

中学生が3名卒業したので新しく募集中です。 もともと勉強嫌いの子供が多いので、学業成績 をアップさせることも大切ですが、気楽に安心し て過ごせる場所づくりを心がけています。子ども も、学習ボランティアも、最初の意気込みが薄 れてそれぞれ自我の主張が大きくなり、遅刻欠 席も増えています。ただ、食事ボランティアの方 たちが積極的においしいものを作るので、それ に励まされて細く長く活動したいと思っています。

皆が集まることを楽しみにするような雰囲気づくりの工夫が必要だと思っています。







特定非営利活動法人 報徳食品支援センター(小田原市) 代表 田嶋 享 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2019年12月

団体の目的・活動内容

まだ食べるのに問題のない食品を企業や市 民から無償で受領し、それを必要とする生活 が困窮状態にある人達に無償で配る活動。

活動歴

2020年2月から活動開始。現在会員数は100 名超。神奈川県西部の小田原市を中心とする 2市8町を対象地域として、主にひとり親家庭に 対して月1回以上の食品提供を行っている。

団体情報

住所: 〒250-0212

小田原市西大友136-1

TEL: 070-8555-2189

Mail:

http://小田原報徳フードバンク.com/

問い合わせ/

URL: http://小田原報徳フードバンク.com

★助成した事業・活動

ひとり親家庭への食品支援

★内容

ひとり親家庭を中心とした食品配布

★助成対象

食品購入費、ボランティア交通費、配送費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

小田原地区でフードバンク活動を立ち上げて、 丁度1年が経過した。当初はコロナ禍によってこ んなに忙しい毎日が続くとは想像もしていな かった。春過ぎから突然に湧き出すように生活 が困難になった人達が次々と現れるようになった。大量の食品提供もあり、いくつかのフードバンクに対する助成金も得られて、この難局を乗り越える事ができた。そして、今にして思う。もし、 我々のフードバンクが活動をしていなかったら、 誰がこの人達を支える事ができただろうか。 我々の活動によって助かった人達が間違いなく いる。しかしそれは見えてはこない。でも、多く の苦境に在った人達への支援をすることが出来た満足感は、何物にも代えがたい記憶となった。





長後こども食堂(藤沢市)

代表 髙見 広海助成金額 85,000円

団体紹介

設立年月

2017年1月

団体の目的・活動内容

地域活性を目的とし、こども食堂を通じて地域の 孤食孤立解消、多世代交流、生活困窮者への 支援を図っていく

活動歴

- ・毎月第一日曜日こども食堂開催
- ・元旦炊き出し(過去2回)
- ・コロナ禍中の夜ご飯支援、昼ごはん支援
- 節分やハロウィンイベントの開催
- ・御所見地区での出張こども食堂

団体情報

住所: 〒252-0802

藤沢市高倉641-5

TEL:080-3428-8792

Mail::aqua_hirou.mi.kuto@softbank.ne.jp

★助成した事業・活動

子ども食堂、生活困窮者支援

★内容

子ども食堂、食支援活動

★助成対象

食材費、会場費、消耗品費、ボランティア 活動費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

第3次に引き続き助成していただきありがとうございました。

今年の3月から長後こども食堂は毎月第一日曜日だけの開催だったのを、毎週水曜日の夜も開催し、活動日数が大幅に増えました。毎週水曜の夜始めた理由は、以前始まった水曜の無料の英語クラブ『長後多世代ダイニング~みちくさ~』に来た子たちに夜ご飯まで提供できたらなという思いがキッカケでした。今回の助成をいただけたこともあり、『長後こども食堂夜の部』を思い切って始めることができました。

夜は夜で、昼のこども食堂とは違い、落ち着いた雰囲気で皆さんゆったりと食事をされていました。 夜だと旦那様がお仕事で不在で、「一人で子どもをみながら食事準備、食べさせる、片付けをやらないといけないので、こども食堂があると負担が緩和されてすごく助かる」との声も頂きました。

今回の第4次の助成のおかげで新たに一歩前進することができました。本当にありがとうございました。









コガスクール(大和市)

代表 古賀 智恵美 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2013年1月

団体の目的・活動内容

子供食堂運営

- ・月2回子供の居場所である子供食堂「コアラ 食堂」を実施(食事支援と学習支援)
- ・子育て支援(オンライン、電話等による子育 て相談)

お弁当配布

・月2回中学生以下の子供に無料で配布)

活動歴

2016年子供食堂「コアラ食堂」開催。夏休みは食事提供と学童的な役割として子どもに居場所を提供する。現在は月2回開催。 地元の方が講師となりイベント開催

団体情報

住所: 〒242-0021

大和市中央7-4-2-101

Mail:kogaschool@gmail.com URL:http://www.kogasuku.com/

★助成した事業・活動

子ども食堂

★内容

子ども食堂での思いやり弁当配布

★助成対象

弁当代、消耗品費等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

農家さんが作った野菜がロス野菜となり、それをどうにか活用できないかと考えた取り組みが実現でき、とても嬉しく思っています。思いやり弁当の記事をSNSに上げたところ、多くの方から反響があり、自分の地域でもやってみたいとの話が出ています。ロス野菜については農家さんと直接交渉を試みる予定です。

思いやり弁当から、ボランティアをやりたい、 見てみたいなど注目され、お弁当を作る飲食店 もいろいろなお店に声をかけて快諾してくれて います。今後は夏休みなど、飲食店で子どもた ち同士で食べに行けるシステムを作りたいと思 います。

今後も子どもがより利用しやすく改善しながら 活動を継続していきたいです。







地域交流サロンさざなみ(綾瀬市) 代表 薬師寺 良子 助成金額 50,000円

団体紹介

設立年月 2019年9月

- 団体の目的・活動内容 ・地元の方を中心に子供から高齢者まで自由に 訪れて、触れ合える場所とし、会員は参加する 方が気持ちよく参加できるように計画をたてて活 動する。
- ・家庭にて一人で食事をする子供や高齢者が少しでも人と交わる事で、個人が心身共に健康で地域と繋がることを目的とする。
- ・地域交流サロン 三世代交流 レクリエーション と食事

活動歴

- •2019年10月から三世代交流サロンを月に1回 食事とレクリエーション
- ・2020年7月より 子どもとその家族にお弁当と 食材を配布

団体情報

住所:

X 〒252-1111 綾瀬市上土棚北5-8-21 森滝ビル3階 デイサービスひばり内

TEL: 0467-38-4334

Mail: sazanami_kodomo5821@yahoo.co.jp

代表 薬師寺 良子 URL: フェイスブックグループ

https://www.facebook.com/groups/7616364745655

36

★助成した事業・活動

多世代交流・子ども食堂

★内容

子ども食堂 子どもの笑顔応援弁当事業

★助成対象

食材費、運搬費、ボランティア活動費、 消耗品費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

第4次緊急応援助成金をいただくことが出来 て本当に助かりました。

いつも食材をいただいていますが、野菜やお 肉は必要量いただけるわけではないので、いつ も買い物をする必要があります。特に3月はほと んどを買う必要がありました。今野菜がとても高 くなっていて、本当に助かりました。お弁当が豪 華でボリュームがあると喜んでいただきました。

現在はお弁当を家族で楽しんでいただくため に、なぞなぞをお弁当に一緒に入れています。 3月は桜のなぞなぞでした。

コロナが落ち着いたら子ども食堂を開催でき るように準備していこうと考えています。 ありがとうございました。















コミュニティしんばし食堂(横浜市) 代表 荻原 捷子 助成金額 50,000円

団体紹介

設立年月 2016年7月

団体の目的・活動内容

地域で一人で食事をしている子どもたちや高 齢者や、親子で楽しく食事をしていただいたり、 放課後の居場所として過ごす場所を提供している。

活動歴

- ・しんばし食堂として、令和2年2月まで43回実施 した。令和2年6月から活動内容を変更して食 料品の配布として、3月まで15回実施した。
- ・横浜市社会福祉協議会主催の「食フォーラム」 で活動報告。またフードバンクかながわ主催 の「食支援フォーラム」で活動報告した。

団体情報

住所: 〒245-0009

横浜市泉区新橋町1338-6

TEL: 045-812-7879

Mail: funako.mi@etude.ocn.ne.jp

★助成した事業・活動

コミュニティ食堂

★内容

食料配布活動

★助成対象

食材購入費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

令和3年から、寄付食料品が減少してきたので活動の継続を心配していましたが、助成を活用させていただき、食料品を購入して配布することができたことを感謝しています。

個別配布しているひとり親世帯のお礼のメールを 紹介します。

「寒い中わざわざ食料をお届け下さりありがとうございました。〇〇(子どもの名前)も大変喜んでいます。いつもいつも本当にありがとうございます。お恥ずかしくもありますが、本当に助かりました。そして今後ともよろしくお願いいたします。」









ひよし食堂の会(川崎市)

代表 庄司 佳子助成金額 67,500円

団体紹介

2016年8月

団体の目的・活動内容

- ・子どもを真ん中にして、一緒に食事をとる中で交流を深めます。また、地域の活動団体を講師に迎え、親子、子どもたちに伝え楽しむ場の提供をお願いしています。こうした交流をするなかでまちづくりに関心のある大人の交流も出来ていくことを目指しています。
- ・「まちのテーブル」という名称で、毎月1回の工作 プログラムと食事の提供を行っています。

活動歴

- ・2017年から2019年まで、幸市民館日吉分館 の市民自主企画事業として毎月1回開催。
- ・毎月1回の定例会。毎年、スタッフ学習会として 他の子ども食堂の方のお話を伺う機会を作って、一 般の方にも声をかけています。
- ・社会福祉協議会の研修で活動報告をさせて頂くほか 地域助け合い事業講演会でも活動を紹介しました。
- ・フードパントリーを開始してから、「プチひよ」という情報誌を発行し、広く配布を始めました。

団体情報

Mail: RXK16162@nifty.com (代表:庄司) URL: (7) まちのテーブル(川崎市幸区)Facebook https://www.facebook.com/hiyoshisyokudo/

★助成した事業・活動 食品おすそ分け会

★内容

食料支援活動

★助成対象

食材費、物品購入費、印刷費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

突然のコロナという大きな出来事の中で、今まで行ってきた「まちのテーブル」という地域食堂の実施が困難になり、どうしようかと頭を悩ましていた時に、助成金のお話を聞き、これならフードパントリーを継続的に行えると大変嬉しく思いました。参加者からの参加費を頂けない状況の中では、基金のような助成金がないと、継続的な活動はなかなか難しい状況です。定期的に開催することで、町の中でも認知され、参加する方も増えてきています。

また、フードドライブも同時に行いましたが、持参して下さる方も増えてきています。地域の中での「まちのテーブル おすそ分け会」という形でフードパントリーを開催でき、地域交流にも大きな力となっています。ボランティアの方も徐々に増え、仲間同士も交流を深めています。

ありがとうございました。









「あいおい」みんなの食堂(相模原市) 代表 佐藤 純子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2016年5月

団体の目的・活動内容

- ・2015年、相模原市内で中央区が一番貧困率が高いという現状を知り、子供たちの貧困問題を解決する為に生活クラブ組合員を中心に、食堂の立ち上げを決める。社協、市民活動サポートセンター、自治会等の協力を得て2016年5月「あいおい」みんなの食堂を設立。場所は生活クラブ相模原センターにて月2回の食事の提供を行っています。地域住民からのボランティアの協力者が増え、現在は計10名近くのメンバーで運営を行っています。
- ・食堂の利用者は赤ちゃん連れのお母さんから高齢者までと幅広く、地域とのつながりをつくることで様々な出会いにつながってきたことは、これからの活動に活かせると感じます。

活動歴

- 2016年5月~第2、第4金曜日 2回/月 食事提供
- ・2020年6月~食糧配布(不定期 土曜日)
- ·2020年10月~第2、第4金曜日 2回/月 無料食糧配布

団体情報

検索:Facebook「あいおい」みんなの食堂 代表者連絡先:080-5413-6581(佐藤)

★助成した事業・活動

子ども食堂

★内容

食品配布、季節行事(進級祝)開催

★助成対象

広報費、企画費、交通費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

新型コロナウイルスの影響によって、食堂の開催が行えなくなり活動が一時期中断しましたが、益々子ども食堂の必要性を感じたことから、市やフードバンクの食材の援助をいただき、食料配布として活動を再開しました。

しかし、食料配布に切り替えてから、食堂を知らなかった人に届けることもできたのですが、食堂に来ていた子供たちが来なくなったのが気になりました。そこでスタッフで話し合い、以前から行っていた季節行事を再開することにしました。

3月は進級のお祝い(おりがみ、赤鉛筆、自由帳)を準備しました。SNSや事前に利用者にチラシを配布、近隣小学校にも宣伝を行いました。当日は用意した30セットは完売し、子供たちに届けることができました。今回助成を受けられたことで、利用者の意見や生活に合わせた食材提供などを準備することができました

新型コロナウイルスの影響で、食堂に来ていた子供たちが来なくなったのは、子供たちは食堂でご飯を食べることで、子供たちの居場所になっていたんだなと思いました。コロナがもう少し落ち着いてきたら、まずは、感染リスクや状況を考慮しながら、子供たちだけでも利用できる居場所の提供をしていけたらと考えています。また、地域住民を巻き込んだ活動を展開できるよう様々な参加の呼びかけを工夫していきたいです。













特定非営利活動法人 サテラ(相模原市) 代表 庄田 浩之

助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2017年6月設立

団体の目的・活動内容

一般市民、特に生活困窮者、ドメスティックバイオレンス被害者及び高齢者等の方々に対して、生活、住居及び自立の支援に関する事業等を行い、誰もが安心して生活できる社会づくりを目的とし、広く公益に寄与することを目的とする。

活動歴

相模原市内及びその近隣において主にフードバンク事業・生活家電バンク事業活動を行なっている。

団体情報

住所: 〒252-0243

相模原市中央区上溝1725-3

TEL: 042-813-6363

E-mail:info@npo-satella.or.jp URL:http://npo-satella.or.jp

★助成した事業・活動

フードバンク、生活困窮者支援

★内容

ひとり親世帯などで、今回の新型コロナの影響により世帯収入が激減した家庭の子供たち の食支援

★助成対象

食材購入費、ボランティア謝金

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

助成頂き有難うございます。

前期からの変化と致しまして、社会経済が混迷する中におきまして、元々非正規雇用で仕事をしていた方々やその世帯の困窮状態が継続する傾向にあり、スポット的な支援ではなく継続的な支援が求められております。また、今までは何とか生活してきた世帯にあっても、コロナの影響が長期化する中において、困窮状態に陥る傾向が多く見受けられるようになりました。その様な中で、我々が社会的に果たす役割や社会的な期待値が益々高まっております。

しかしながら、一方でこういった助成金が無いとなかなか活動が出来ないという事も事実でございます。我々も何とかコロナの影響が無くなりみんなで笑顔になれる日まで支援してまいりたいと思います。今回も助成頂き有難うございました。



たすけあい(小田原市)

代表 太田 実 助成金額 87,500円

団体紹介

設立年月

2019年4月設立

団体の目的・活動内容

困っている人を助けること 病気や失業で生活できない。そんな困っている人 にわずかですが食べ物などをお渡しします。

活動歴

サロンなどで無料での食糧配布、フードバンク からの提供食品とかながわ生き活き市民基金 からの助成金で購入した食料品などを生活困窮 者に配達しています。

団体情報

住所: 〒256-0816

小田原市酒匂4-5-40

E-mail: ootam242@gmail.com

★助成した事業・活動

フードバンク

★内容

生活困窮者、ひとり親家庭、障害者への 食支援など

★助成対象

感染対策費、食材購入費、配送経費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

助成を受けることができ、ひとり親家庭、障害者、 生活保護利用者などのお困りの方やコロナウイ ルス感染拡大により困っている人に食材、食品、 身の回りの品物などをお渡しでき、みなさんから 感謝の言葉を頂き、本当にやってよかったと思っ ています。

酒匂幼稚園 園長先生のご協力により、全保護 者に呼び掛けていただき、希望者にお渡しできま した。酒匂中学校の希望者も食品の無料提供に 非常に喜んでくれております。ほかに、さまざまな 方に配達しておりますが、皆さん配達すると非常 に喜んでくれます。

これからも、感染防止対策をしながら、少しでも 皆さんのお役に立てるよう継続して行きます。



検温・手指消毒を 行い、活動スタート

















フードコミュニティ (相模原市) 代表 中臺 博

助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2017年10月

団体の目的・活動内容

市民の皆様や企業様からお裾分け頂いた野菜や果 物・贈答品・規格外食品で賞味期限原則30日以上の食 品をご寄付いただき、市内の子供や高齢者向けの食堂 や養護施設・生活困窮世帯を支援されている団体・無料 学習塾様に無償でお届けし、有効活用されることで、 フードロスを削減し、地域とのコミュニケーションの拡大 を推進しています。

活動歴

食材を必要としている団体や個人のメーリングリストや LINEグループ、Facebookグループを作成し、提供可能な 食材を発信し、必要な方を把握し届けている。 食材提供を呼び掛けるため、Facebookやチラシなどを

活用して発信している。

現在の主な活動

- ・パルシステムグループからの食材集荷(原則第2・第4 土曜日)
- ・オギノパン様からの食材集荷と配送活動(毎週日日・ 第2・第4金曜日) ・フードバンク様からの食材集荷と配送(原則第4金曜日) ・相模原市資源循環推進課のフードドライブ品の
- 集荷(1回/月)
- 市民からの食材提供随時(月平均15か所)
- ・市民団体等への食材配送随時(月平均28回)
- ・扱う食材の数量(フードロス削減金額換算) 120万 /月(年間平均1, 440万円)
 •LINEやFacebookグループでの情報交換や情報
- 共有(例:食材の融通等)

団体情報

住所:相模原市南区 TEL: 070-4481-4094

Mail: foodcommunity.1001@gmail.com

URL:

https://foodcommunitysagamihara.amebaownd.com/

★助成した事業・活動 フードバンク

★内容 ... 大学生、ひとり親家庭への食材支援

★助成対象 食材費、搬送費、スタッフ活動費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

長引くコロナ禍において、4回にわたるご支 援誠に感謝申し上げます。

今回も、大学生向けの食材支援や子育で 世帯への食材配布、仕事を失い生活にお困 りの世帯への食材配布等、様々な活動に使 用させていただきました。

食材配布時に子育て世帯の方向けに、会 場から食材をお持ちいただく際のエコバック を購入、今後も繰り返しご使用いただけるよ う、お願いしましました。







NPO法人 フードバンク浜っ子南(横浜市) 代表 下山 洋子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2020年6月

団体の目的・活動内容

新型コロナの影響により困窮を抱えた方々が更に ひっ迫した状況に置かれている現状を鑑み、身近な 地域に密着した細やかな食料支援活動を行えるよ う新たな組織を立ち上げました。

活動歴

団体設立前は、スタッフ全員が前所属のNPO法人フードバンクでひとり親支援やホームレス支援等、食に困った方々への支援活動を行ってきました。これらの活動経験と人脈を生かして、2020年7月から横浜市戸塚区役所内で新たな活動をスタートし、10月からは南区、2021年2月からは磯子区に広がりました。

団体情報

住所: 〒245-0067

横浜市戸塚区深谷町1252-13

トリームハイツ3棟203号

TEL: 080-9201-4357

Mail: smile@fbh-minami.org
URL: www.fbh-minami.org

★助成した事業・活動

フードバンク

★内容

ひとり親世帯へのフードパントリー方式の食料 支援事業

★助成対象

倉庫賃料

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

長引くコロナ禍のなか、子育て世代の経済的困窮が深まっていることを食支援の場から実感しています。ひとり親さんたちは経済的問題だけでなく様々な課題を抱えていることも見えてきました。食品支援の継続とともに、人と人とがつながれる場が必要と感じています。

助成をいただき最も有難かったことは、フードバンク活動に不可欠な支援食品保管倉庫を確保し、活動基盤を確かなものにすることができたことです。心より感謝致します。

支援活動開始から9か月、地域密着の活動を続ける中で、支援団体、企業、商店会など地域の皆様との繋がりが生まれてきました。また、食品寄付も少しずつ増えてきています。

助成金にお寄せいただいた皆様の温かいお気持ちをいかせるよう、これからも一歩一歩活動を進めてまいります。









特定非営利活動法人 神奈川フードバンク・プラス(横浜市) 代表 本岡 俊郎 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2017年7月

団体の目的・活動内容

横浜市の中区から金沢区にかけての地域と横須 賀市を中心とした2つの地域において、現行の福祉 制度の対象から外れる基礎年金だけで暮らす高齢 者、母子家庭、外国人労働者などをフードバンクの しくみを生かして食品支援を行うことを目的として設 立した。

活動歴

- ・かもめ団地独居高齢者への食品支援(隔月)
- ・津久井浜地区高齢者への食品配布(隔月)
- ・コロナ禍で収入が減った母子家庭等への支援
- 毎月50団体(市福祉関係、子ども食堂等)への 食品支援

団体情報

住所: 〒231-0842

横浜市中区上野町2-54

横浜上野町教会内

TEL: 090-3107-6477

Mail: motooka0215@hi3.enjoy.ne.jp URL: http://foodbankplus-kanagawa.org/

★助成した事業・活動

フードバンク

★内容

生活に困窮する独居高齢者や母子家庭、大学生等を対象とした食品支援活動

★助成対象

ボランティア交通費、燃料費、食品購入費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍による生活困窮世帯の増大により、 フードバンク活動の宣伝活動の効果も効き、食 品提供依頼が増えています。今年に入り老朽 化した倉庫から駅近の場所に事務所兼倉庫を 設置し、その依頼に応えています。ボランティア の方も日増しに増えており、嬉しい限りです。ま た活動拡大のために地域の社協や自治会にも 声掛けをして協力関係を築いております。

組織や活動の拡大には食材と人と資金が必要となります。その意味でも今回の助成金の提供はおおいに助かりました。ありがとうございました。







事務所での個人配布会



配布会準備

特定非営利活動法人 スペースナナ(横浜市) 代表 柴田 曉子 助成金額 89,550円

団体紹介

設立年月 2010年12月

団体の目的・活動内容

誰もが安心して暮らせる地域づくりのひとつの拠点としてく世代や性別、国籍、障害の有無などを越えてだれもが安心して楽しく集える>場でありたいと社会的課題をテーマとする講座や多様な交流の場づくりを行ってきた。

活動歴

地域の11の作業所の利用者さんのアート作品展と安心できる地域づくりのための連続講座を設立時から毎年開催。6年前から交流食堂「ナナ食堂」(月2回、コロナで現在休止中)、2020年から介護予防のための通所サロン週1回。その他福島からの避難者の方の311カフェ、政治を語るカフェを毎月開催。若者支援の居酒屋も開催していたがリモートに移行。

団体情報

住所: 〒225-0011

横浜市青葉区あざみ野1-21-11

TEL:045-482-6717
FAX: 045-482-6712
Mail: spacenana@gmail.com

URL:https://spacenana.com/

★助成した事業・活動

フードドライブ、フードパントリー

★内容

フードドライブ、フードパントリー

★助成対象

食品購入費、ボランティア交通費、運搬費、 感染対策費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

昨年秋から始めた事業ですが、第3次の助成応募で青葉フードシェアの一団体として参加させていただき、チラシができたことで広報も広がり、スタート時の基盤を作ることができました。今回はそれを発展させ持続可能にするための助成をお願いすることで、ボランティアの方に、より積極的に関わっていただくことができ、会の運営や役割分担について討議と試行錯誤を重ね、活動基盤を強化しステップアップを図ることができました。

駐車場代などの活動費はもちろんのこと、食品の購入費の補助もあったことで、利用者のニーズにより沿うことができ、またどのような食品が求められているかのリサーチを深めることができて、フードシェアの活動の幅も広がったと思います。スタートから間もない基盤が不安定な時期に助成をいただけたことを感謝しています。





一般社団法人 Brazilian Business Group (横浜市) 代表 橋本 秀吉 助成金額 100,000円

団体紹介

2014年9月

団体の目的・活動内容

日系ブラジル人の生活向上を目指して、日本とブラジ ルを繋ぐ新しいビジネスの発掘や、中南米出身の求職者 に仕事の紹介を無償で行ってきました。コロナ禍によって 多数の日系中南米出身者が職を失ったので、現在は彼 らへの食品支援を中心に行っています。特にフードバン クかながわの協力を得て、日本人には引き取り手の少な い大サイズのアルファ米などの災害用備蓄品を多量に 引き受けて、神奈川県下をはじめ、群馬県、茨城県など の中南米出身者の団体に配布をしています。

活動歴

これまでフードバンクかながわと組んで災害用備蓄品 のアルファ米等を外国人労働者が多く住み、また食品が 供給がされる機会が極めて少ない遠隔地の群馬県大泉 町や茨城県常総市等の団体に届ける活動を続けてきま した。外国人困窮者の食生活は厳しく、日本人には敬遠 されるような使いづらい食品も彼らは喜んで、工夫して食 べています。フードバンクかながわ以外に、NPO法人かな がわフードバンク・プラスやNPO法人報徳食品支援セン ターからも、調味料や食用油、コーヒー、落花生、ジャム、 冷凍パン、冷凍野菜などの支援を受けて、配送スタッフ (鈴木アウレリオ)が保有する2トントラックで配送していま す。コロナ禍の先行きが怪しくなっているので、ますます 支援の要望が増えるのは間違えないことでしょう。

団体情報

住所: 〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央1-4-3 共同ビル5階

TEL: 080-6561-8536 Mail: suzuki@bbg-asia.com

★助成した事業・活動 日系ブラジル人への食料支援活動

★内容

群馬県、茨城県の外国人困窮者への食 料支援

★助成対象

交通費、スタッフ活動費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

現在、たくさんの外国人労働者が職を失ったり、生 活をしていくのが厳しくなってきています。母国に帰 りたくても帰れない、働きたいのに働けない、そんな 方が多くいます。今回の助成により、より多くの困っ ている方を助けることができました。また、このような 活動ができたのは、食品支援をしてくださったフード バンクかながわやNPO法人報徳食品支援センター、 NPO法人神奈川フードバンク・プラス、タキモト様を はじめとするたくさんの人の協力でなり得ました。こ ころから感謝いたします。このコロナ禍だからこそ支 えあっていくしかないんです。そんなことをこの活動 を通してわたしは、学ぶことができました。これから も生活に困っている外国の方の支えになれるよう頑 張っていきます。ありがとうございました。





育ち合い広場 てとてとて(藤沢市) 代表 小川 智子 助成金額 82,000円

団体紹介

設立年月

2017年7月設立

団体の目的・活動内容

<目的>

- ・子どもとの暮らしと向き合い地域と繋がり育ち合う事
- ・子ども達の豊かな感性や想像力を引き出せる環境を考 え育成を見守る事
- ・互いの人格を尊重し、各々が各々らしく生きる為の場所 作り

<活動内容>

- (1)子どもとの暮らしと向き合う座談会。
- (2)互いの特技や趣味を生かし、学び育ち合える場として「手等子屋(てらこや)」の開催。
- (3)地域の自然の中で五感を使い、四季折々を感じながらの野外探検活動。
- (4)「困った時はお互い様」分かち合い、助け合いのフードバンク分配活動。環境問題にも取り組む。

活動歴

暮らしの座談会、居場所活動「てらこやわはは」、年間体験活動「てらこやであそぼう!まなぼう!」、かさ地蔵 プロジェクト

団体情報

住所: 〒251-0002

藤沢市大鋸(番地非公開)

TEL: 非公開

Mail:tetotetote2017@gmail.com

URL: https://www.facebook.com/tetotetote2017

★助成した事業・活動

親と子の育ち合いを目的とした活動

★内容

かさ地蔵プロジェクト、放課後の居場所

★助成対象

ボランティア活動費、講師謝金、消耗品費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

長期化している自粛ムード。我慢も限界に来ている子、慣れてきた子、どちらも今後の成長への影響が心配です。活動ではできる限り従来の日常を保つことにこだわりました。定期的な居場所開放を継続することで、地域の方々に周知され、ご協力やご支援の言葉を頂くことも多くなりました。「ここへ来ると元気がもらえる」との言葉に私どものほうが元気をもらっており、まさに育ち合い、助け合い、支え合いの活動だということを身をもって感じました。

メインスタッフは子育て世代の母たち。年度末は 特にわが子の行事などと重なることも多く、たかが 週に一度の活動でも予定を調整することが難しく、 継続を断念せざるを得ないかもと心折れそうにな る時もありましたが、助成してくださる皆々様の存 在に支えられ、休まず続けることができました。

ー年間、たいへんお世話になりました。心より感謝申し上げます。





NPO法人ワーコレたんぽぽひろば(茅ヶ崎市) 代表 竹内 あき子 助成金額 35,000円

団体紹介

設立年月

2003年10月

団体の目的・活動内容

親を支援することの先にある子どもたちの健やかな成長、生まれてきたすべての子どもたちが自分自身を大切と感じ、幸せに育つことを願い、「子育て支援は親支援」を合言葉に、地域に根差した活動を行っている。

活動歴

親子のフリースペース・ランチ会・不登校の親の会・親子工作・おかし作りワークショップ・小学生のひろば(長期休み時に開催)未就学児の一時預かり保育など

団体情報

住所: 〒253-0041

茅ケ崎市茅ヶ崎234-1

TEL: 090-6560-8530

Mail: tannpopohiroba@gmail.com

URL: https://www.facebook.com/npotanpopohiroba/

★助成した事業・活動

居場所「たんぽぽはうす」での子育て支援

★内容

産後体操開催

★助成対象

講師謝金、広報費、賃借料一部等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍で、公民館などのフリースペースの閉鎖が続き、イベントなども中止になる中で、子育て中のお母さん同士が交流する場が少なくなっている現状が続いています。緊急事態宣言も延長されるなどした中で、小さい子を連れての外出に戸惑いを感じたり、支援センターも予約が必要となるなど、気軽に集えるコミュニティの場の減少は子育て中のお母さんにとってはストレスを抱えやすい状態になっていると思われます。

今回も、日頃の悩みや困りごとなどを共有する時間をとったのですが、自分のご飯は、残り物を台所で立ち食いをしている、睡眠が十分にとれていないなど、お母さんたちの日頃抱えているストレスはたくさんあるようでした。自分一人で悩んでいたことが同じ気持ちの人がいることを知ることで気持ちが軽くなったり、専門の先生よりアドバイスを受けることで不安な気持ちが解消されたり・・・話をする場の大切さを改めて感じました。

また、「産後はお話を聞く講座には参加したことは あったけれど、体を動かすものは初めてで、本当に体 がすっきりしました」という声もきかれました。産後の体 のケアの大切さも伝えることができました。

緊急事態宣言が延長され、開催時期が予定より遅れてしまいましたが、開催させていただけたことに感謝いたします。今後も子育て中のお母さんたちのストレスが軽減されて、また日々の生活を少しでも楽しんでもらえるきっかけとなるような場づくりに励んでいきたいと思います。ありがとうございました。







特定非営利活動法人 アスリード(横浜市) 代表 武政 祐 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2019年9月20日

団体の目的・活動内容

「すべての若者が自分の可能性を信じて、未来(あす)を描ける社会を創る」というビジョンのもと、神奈川県内で学ぶ中学生・高校生を対象にキャリア教育 支援を行っています。

活動歴

・みらいteacher・・・中学校・高等学校で行う職業講話や職場体験の企画・運営・コーディネートをしています。前身のさくらノートを含む平成27年~令和元年までに120校で実施、12,000人の中高生に将来の選択肢を広げてきました。
・校内居場所カフェ・・・川崎市立高津高等学校定時間において、温学予味と推覧表記の書きませ

時制において、退学予防と進路未決定者支援を 目的に、毎週水曜日「SAKURA◆café」を運営 しています。これまでに1,500名以上の生徒が利 用し支援を行っています。

キャリア教育支援誌「みらい百花」の発行・・・生き活きと働く大人たちの仕事内容や、どうしてこの仕事を選んだのかなど40名以上の人生ドラマ が詰まったキャリア教育支援誌「みらい百花」を 発行。横浜・横須賀・川崎・相模原・藤沢・町田 にある中学・高校、約400校70,000人の若者へ 無料配布。「総合的な学習の時間」の教材として 活用頂いています。

団体情報

住所: 〒236-0045

横浜市金沢区釜利谷南3-15-17

TEL: 045-325-8801 info@aslead.org Mail · URL: https://aslead.org/

★助成した事業・活動

中学校・高等学校で行う職業講話や職場体験の企 ーーへ 画・運営・コーディネート

オンライン職業講話 ★**助成対象**

交通費、通信費、印刷費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は第4次助成を頂き誠にありがとうござい ました。新型コロナウイルスの影響でキャリア教 育が実施できない学校が多い中、できる範囲内 ではございますがオンライン職業講話という形で 397名の中学生・高校生に将来を考える機会を届 けることができました。

昨年は小中高生の自殺者数が統計を取り始め て以来過去最悪を更新してしまいました。閉塞感 が続く環境下、なんのために勉強するのか、社会 人は何をやりがいに働いているのかなど、将来が 楽しみになる機会が子ども達には必要です。3回 にわたり貴基金を頂けたことでコロナにも負けな い新たなキャリア教育の形を創出することができ ました。これからも一人でも多くの若者に将来を 考える機会を届けていきたいと考えております。 誠にありがとうございました。







ラフェリーチェ(横浜市)

代表 穂志乃 愛莉

助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2019年5月設立

団体の目的・活動内容

ラフェリーチェは、すべての女性と子ども達が夢と希望を思い描ける社会を目指して設立しました。主に、①DV・虐待被害者の救済支援②ひとり親世帯をはじめとした貧困世帯の子ども達への教育支援を活動内容に掲げて活動していました。2020年3月には、①部門は独立して、NPO法人DV対策センターとなりました。現在、ラフェリーチェは、①子ども達のための教育イベントの開催(月に一回、プログラミング教室など)②平日週に3日の学習支援・居場所支援・食事提供支援を行っています。そのほか子どもの心理に詳しいカウンセラーが常駐し、思春期のお子さんや子育てに悩む親御さんの悩み相談も行っております。

活動歴

- ●毎月1~2回子供向けおよび親子向けイベントの 開催
- ●平日の学習支援・居場所支援・食事提供支援
- ●家庭における悩み相談、お子さんの悩み相談業 務

団体情報

住所: 非公開

TEL: 080-6708-0773 担当:穂志乃 URL: https://lafelice.yokohama

★助成した事業・活動

母子家庭等貧困世帯の居場所、学習支援

★内容

DV・虐待被害者世帯及び母子家庭等貧困世帯 の子ども達の学習支援・居場所支援・食事支援

★助成対象

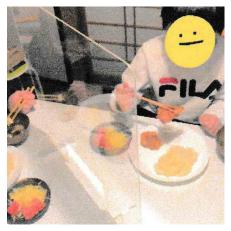
食材費、ボランティア交通費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

ラフェリーチェでは、家庭における経済の差が、教育格差につながることを避けたいという願いのもと、ひとり親世帯をはじめ貧困家庭や事情を抱えた世帯への教育支援を行っています。子どもたちの中には必ず、知的好奇心が宿っています。知らなかったことが分かった!できなかったことができるようになった!という体験を重ねるうちに、それらは大きく育っていきます。なんのために勉強するの?どんな大人になりたいの?とゆっくりと対話を深め、本人が主体的に学習できるよう支援しています。最初は、楽しい場所、安心できる場所と思ってもらうことからスタートです。不登校、発達障害のお子さんも受け入れています。







ふれあいっこ三ツ沢(横浜市)

代表 小川 真奈美 助成金額 60,000円

団体紹介

設立年月 2017年9月

団体の目的・活動内容

- 子どもの欠食・孤食を軽減し、食を通しての様々な 学びの場の提供
- ・月2回食事提供やイベントの開催 ・教育の格差で子どもたちの未来を奪って はいけないとの思いで「学習支援」の場の提供

活動歴

- 食事提供:開催から70回。
- イベント開催: 芋ほり&バーベキュー(野菜提 供の農家さんとの交流)、三ツ沢公園樹名板 作り、木工教室、花火、クリスマス会、ハロウィ ン等

団体情報

住所:

横浜市神奈川区三ツ沢東町2-29(東町自冶会館) 横浜市神奈川区三ツ沢西町11-33(西町自治会館) 横浜市神奈川区三ツ沢南町10-6(南町町会会館) 横浜市神奈川区三ツ沢上町8-43(上町町内会館)

Mail:fureaikko@gmail.com

URL: kids-33-comm.jimdofree.com

★助成した事業・活動

外国につながる家庭の子ども支援・親支援

★内容 学習支援

★助成対象

物品購入費、消耗品費、ボランティア活動費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

私達ふれあいっこ三ツ沢は以前から抱えていた地域の課題として挙がっていた「外国につながる家庭への支援」をする事にしました。今回の支援対象者である2年前に来日したインド人家族は、父親、母親、長男(高1)、次男(小6)。もう1家族は父親の弟で1年前に来日した父親、母親、長女(幼稚園年長)。母親二人は全く日本語が分からず、小6の息子が過訳をしている状況でした。

そこでまず簡単な会話が出来る様にと、日常会話 とひらがな、カタカナの読み書きを始めました。とても熱心で真面目で、宿題もこなし、毎週、日本語を習得する喜びにあふれていました。教える側も一生懸命に取り組む事が出来ました。

子どもの支援は、補助金で購入したタブレットを使い、神奈川大学の齊藤ゼミの学生さん達6人が交代で学習支援をしてくれました。タブレットを購入出来た事で、コロナ禍でもインターネットを使い学習支援が出来た事は、支援の幅がより広がったと実感しています。そして、この2家族が少しでも日本の社会になじんで、地域住民として生活出来る手助けが出来た事を嬉しく思っています。

今回は、補助金を受けての1月から3月までの短 い期間の支援でしたが、今後も何らかのかたちで支援が出来ればと思っています。



東町自治会館にて



購入した教材



購入したタブレット



1回目は自宅で学習支援

特定非営利活動法人 学習支援ボランティア和絆(横須賀市) 代表 品川 孝司 助成金額 83,000円

団体紹介

設立年月

2020年12月

団体の目的・活動内容

横須賀市内に在住し、経済的または家庭的な理由により十分な学習環境を保障されない小・中学生に対して、学習支援に関する事業を行い、子どもの健全育成、人権の擁護又は平和の推進を図り、社会教育の推進に寄与する。

活動歴

定期的に学習支援を行い、その時にみんなで食事をし、流しそうめんなど工夫をしながら楽しく過ごしてきました。コロナ禍では食事は持ち帰りにして、安全第一を心がけています。

団体情報

住所: 〒238-0042

横須賀市汐入町2-32 太平堂ビル2階

TEL: 080-5192-7019

Mail: k.shinagawa.3320@gmail.com

URL: https://nzn.at.webry.info/

★助成した事業・活動

無料学習支援

★内容

学習支援•理科特別実験授業

★助成対象

食費、感染対策費、ボランティア交通費 教材費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナパンデミックによって子どもたちの活動が制限され、不安を強いられている状況に対して、経済的助成によって、普段あまりできない実験などをやったことは学習支援の幅を広げることになりました。バナナで釘を打てるほど凍るなどは映像として知っていても、リアルに目の当たりにできたことなどは、知的イメージを広げる効果があったと思います。

年度末の無償での野菜提供は助成金があったからできたし、コロナ禍による収入減少などに貢献できました。また、こうした取り組みからヒントを得て、農家と消費者の直接的な安価な流通を展望し、当会の活動資金形成にも取り組む契機になりました。









学習の風景(上)とドライアイスを使った理科特別実験(左)

特定非営利活動法人 ぜんしん(平塚市) 代表 柳川 涼司 助成金額 92,849円

団体紹介

設立年月 2011年10月

団体の目的・活動内容 不登校・ひきこもりの当事者、保護者の支援施設が不足する 相模川から西側の地区において、ニーズの高い「元当事者に よる相談対応」や「ゲーム、パソコン依存で不登校・引きこもり に悩む方への支援」を提供することが必要である。

上記の社会問題を解決すべく、ゲームで日本一になった元 不登校・高校中途退学・ひきこもり経験者が指導者になり、元 当事者親子・親御様の会・支援団体等と協力をして、不登校・ ひきこもり当事者が集う為の「居場所」を開設し、各種プログラ ムを通して当事者の復学・就労等といった自立を支援している。

- 活動歴 1)居場所の提供:不登校·ひきこもり当事者親子が集い意 見交換等を行う。
- 2)就労支援相談会&ミニ講座の開催:ひきこもりやニート状 態にあり、就労に悩む親子へ「相談会」や「ミニ講座(対人 スキルUPや就労に向けたプチパソコン講座)」等を開催。
- 3)個別相談(訪問支援): 当事者親子の各家庭他へ訪問し、 個別相談や面接対策等を実施。
- 4)その他(講演会[神奈川県共催事業]、図書館ボランティア 体験事業[平塚市協働事業]、eスポーツをテーマにした職 業体験事業「神奈川県委託事業」、ゲーム大会の開催ほか)

団体情報

住所: 〒254-0026 平塚市中堂2-22 TEL: 0463-23-1177

Mail: ryoz@lifestyle-cps.sakura.ne.jp

団体公式ホームページ: https://www.zenshinnpo.org 団体公式ブログ: http://ameblo.ip/zenshin-maekatsu

団体CM映像(YouTube):

https://www.youtube.com/watch?v=RE4fkBpRMsU

★助成した事業・活動

不登校・ひきこもりに悩む親子支援

「不登校・ひきこもり」に悩む親子の 居場所開催

★助成対象

物品購入費、広報費、感染対策費等

助威をうけて・・・の思い・メッセー

私たちは、不登校やひきこもりに悩む親子 が先ずは家から外へ出て、訪問できる「きっかけづくりの居場所」を提供しております。ふ ル・ノン・ソの店場所」を提供しております。ふさぎがちな気分から元気になれる「居場所」を設けたいと考え、かつて、不登校やひきこもりを経験した当事者サポーターらが、各種プログラム等を用意し、復学・進学・就労といった自立を支援しています。

ゲームで日本一になった元当事者が中心となり、活動を行っている為、様々なゲームを支援活動に取り入れていることも特徴の一つで

この度は、助成事業として採択されたこで、コロナ禍に相応しい支援スタ<u>イ</u>ルを 構築することができました。後手に回っていたリモート居場所の開催に向けた足場固 めを進めることができ、感謝しております。 また、リモート会議を定期的に開催したこと 、改めて支援活動の方向性等を見つめ直 す機会を頂きました。スタッフ間の結束も高 まっており、私たちは今後も支援のカタチを変 容させながら活動を継続してまいります。













橄欖屋(横須賀市)

代表 立川 修成 助成金額 69.800円

団体紹介

設立年月

2019年9月

団体の目的・活動内容

大学生という、より子どもに近い立場で子ども たちに関わっていく

活動歴

2020年9月 あーすぷらざにて子ども向けイベント

2021年3月 新丸子こども文化センターにて子ど

募集チラシ掲示

も向けイベント開催

団体情報

非公開

★助成した事業・活動

空き家を使った居場所・学習支援活動

★内容

無料学習支援

★助成対象

交诵費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

今回の活動は私たちのグループの中でも大きなー 歩であり、新たな企画をつくるにあたり大切な期間 でした。このプロジェクトに支援していただき心から 御礼申し上げます。今回のプロジェクトといたしまし ては「子どもたちの居場所づくり」という想いがメン バー一堂にあり、それに向けて歩み、努力してこれ たのはかながわ生き活き市民基金の期待があった からこそだと思っております。まだまだ努力が足りな い部分は多いですが、多くの団体や保護者様から の応援もあるので、今後もより優れた環境を作り上 げられるように努力してまいります。

また、今後は私たちの目標をすべてとして考える のではなく、サポートしていただいた多くの団体様の 考えも重視し、努めてまいります。大学生の期間に 子どもたちのために行動することができたのは今後 の人生の経験に大きく影響を与えると思います。ま た機会がありましたらお力を貸していただきたいと 思っております。よろしくお願いします。



開設に向けて空き家清掃



子どもたちの居場所の外観

黒板作成

特定非営利活動法人 まなひろ(横浜市) 代表 木村 裕之 助成金額 24,000円

団体紹介

設立年月 2019年3月

団体の目的・活動内容

横浜市鶴見区及び近隣地域において「障がい児」「ひとり親家庭の子」「日常生活に自立支援を要する人」及び「それに準ずる人」を対象に、「社会に対する問題となっている障がいの事由」を傾聴し「情報・理科の思いが、 同題となっている障かいの事田」で限場では、 同題となっている障かいの事田」で限場では、 同式できるよう働きかけ、地域の人達の垣根が 無くなるよう、「助け合い」のネットワークを築き、自発的 な社会参加及び上記であげた分野を通して地域社会 の活性化に寄与することを目的とする。

学習支援(個別支援学級の児童生徒を含む)、情報技術サポート支援(ホームページ制作やスマホ講座等)、ピアサポート活動を実施

活動歴

2019年度

- •施設型学習支援 97回実施 延人数 384名
- •訪問型学習支援 138回実施 延人数 192名
- •情報教育学習支援 32回実施 延人数 119名

団体情報

住所:

<本部事務所>

〒231-0062横浜市中区桜木町1丁目101番地1 クロスゲート7階

<鶴見事務所>

〒230-0001横浜市鶴見区矢向2丁目4番24号 グリーンハイツ303号室

045 - 572 - 7075TEL: 045 - 834 - 4710FAX: Mail: info@yuuei.yokohama

URL: https://www.yuuei.yokohama

★助成した事業・活動 学習支援•食料提供

ひとり親の家庭、障がいを抱えている 子どもの学習支援・食料提供 ★助成対象

食材費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

この度、新型コロナ対応緊急応援助成を受けて、 私たちは、はじめて食料提供支援事業を実施いたし ました。コロナ禍での学習支援等の活動を通して、失 業したご家庭や心理的にも物理的にも孤立してし まった子どもたちを目の前にして、傾聴に重きを置い た支援を実施して参りました。成長期にあたる子ども たちに食料を支援することができて本当に良かったと 思っております。

食を通して、健康的な暮らしができ、そして精神面 や情緒面が安定し、学力や体力の向上につながると 思います。今回の助成をきっかけに、食育を含めて 「知・徳・体」を育み、子どもたちの「生きる力」を育む ことができるように支援を実施していきたい所存でご ざいます。

最後になりますが、まだコロナ禍の状況が続きます が、当法人がさまざまな人たちと、ともに生き活きし た共生社会を創り出すことに寄与できればと思って おります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。









・般社団法人 みんなのレモネードの会(横浜市) 代表 榮島 佳子 助成金額 50,000円

団体紹介

設立年月

2020年4月設立

団体の目的・活動内容

当法人は、小児がんの啓発活動、小児がん患児・きょうだい児・患児家族の支援に関する活動を行い、もって小児がんを取り巻く環境改善に寄与すること

- を目的とし、次の事業を行っています。 (1)小児がん啓発のためのレモネードの販売 (2)小児がん患児等及びその家族を対象とした 交流イベントの企画、開催及び協力 (3)小児がも発のためのイベントの企画、開催
- 及び協力
- (4) 小児がん啓発のための印刷物やグッズ等の
- (4)小児がんち足のための時期ではファステン 企画、制作及び販売 (5)小児がん啓発のための講演活動 (6)小児がん患児等及びその家族の宿泊施設、 イベント交流施設、飲食店等の運営 (7)小児がんや AYA 世代のがんの経験者等の
- 就労支援
- (8)その他当法人の目的を達成するために必要

活動歴

2016年より任意団体として活動を始めた「みんな のレモネードの会」は、2020 年 4 月 15 日 に「一般社団法人みんなのレモネードの会」となりました。 小児がん患児家族の立場から、「小児がんのことをもっと知ってほしい」「患児や患児家族でつながりた い」と、小児がん啓発活動、患児やその家族の交流 会などを開催していましたが、法人化後 はその活 動をより幅広く行い、必要な支援を充実させていき たいと思っています。2020 年春からは新型コロナウイルスの影響により、イベントや交流会のオンライン化に取り組んでいます。

団体情報

住所: 〒220-0073

横浜市西区岡野1-6-48-402

TEL: 非公開

E-mail: makelemonade-37gogo@yahoo.co.jp URL: https://minnanolemonade.iimdofree.com/ ★助成した事業・活動

小児がんを経験した児童と家族の当事者会

★内容

小児がんデー企画 絵本『ぼくはレモネード やさん』を通して小児がんを伝える活動

★助成対象

絵本購入費、郵送費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

例年、2月15日の国際小児がんデーは、全国で 様々なイベントが開催されます。しかし、今年はコ ロナの影響で開催が見送られたり、オンラインで 開催されたりと、例年とは違ったものとなりました。 このような状況の中、「私たちができることは」と 考え、絵本『ぼくはレモネードやさん』のプレゼント 企画を開催しました。

交流やつながりのなかった患児家族の方々と、 この企画を通して繋がることができました。皆さま それぞれの活動報告を頂き、その報告を当法人 のSNSなどで掲載させていただきました。小児が ん患児家族として「支援」を受ける立場だけでなく、 それぞれの困りごとや伝えたいことを自らも発信 していくことの大切さを伝えられたのではないか と思っています。また、それぞれの立場で、病を 受け止める機会にもなったのではと思っています。 このプレゼント企画を通して、この絵本が小児が ん患児家族の皆さまにとって支えやカになると改 めて実感しました。

2021年4月からは、治療を経験した子どもたち やそのご家族が、復学、社会復帰する際に、この 絵本が周囲への支援や理解を得るための一助 になればと、毎月3冊絵本をプレゼントする事業 を行う予定です。







特定非営利活動法人 湘南DV サポートセンター (藤沢市) 代表 瀧田信之 助成金額 92,718円

団体紹介

設立年月

1999 年4 月

団体の目的・活動内容

専門家とユースリーダーの協力により、女性、子ども、障がい者、外国人等幅広い分野で暴力の被害者支援、暴力防止を中心とした人権に関する広報啓発及び教育普及活動を行うとともに、人権意識の向上、次世代の人材育成を推進し、もって人権の擁護、男女共同参画社会の形成等の公益の推進に寄与することを目的とする団体である。

活動歴

- (1) 広報啓発事業①「それ、恋愛じゃなくて DV です」(WAVE 出版 2009 年 4 月) 出版②情報発信
- (2)人材育成・研修教育事業①ユースリーダー養成 ②講師派遣・専門家対象研修③野外体験プログラム
- (3)コミュニティ支援・連携事業①高齢者向け避難 誘導員養成講座②総務省委託 暴力防止ワ ークショップ③支援者のネットワーク構築 ④神奈川県・文部科学省委託 いじめ防止プ ログラム指導者養成講座
- (4)被害者支援•相談事業

団体情報

住所: 〒251-0044

藤沢市辻堂太平台 2-2-3-102

TEL: 090-4430-1836

Mail:tryton@kodomo-support.org URL:http://kodomo-support.org/

★助成した事業・活動

DV被害者支援

★内容

いじめ防止プログラム・いじめ防止プログラム 受講生によるスクールバディ・サミット

★助成対象

ITサポート費、通信費等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍で多くの教育的イベント、行事が中止になっている中、12年続いてきたいじめ防止に取り組む生徒たちの集いである「いじめ防止スクールバディ・サミット」の開催も危ぶまれましたが、不便な学校生活を強いられてきたにもかかわらず頑張って学校をリードしてきたスクールバディたちの想いを他校の仲間たちと共有する意義は大きく、慣れないITを駆使し、実施できたことは生徒たち、我々主催者にとっても大きな励みとなりました。





スクールバディ・オブ・ザ・イヤー2020投票フォ ーム

スクールバディ担当の先生方へ

投票はGoogleフォームを活用し、各校の投票数を担当の先生に 入力していただき集計いたしました





NPO法人しえんのまなび舎(平塚市)代表 髙梨 聡美 助成金額 50,000円

団体紹介

設立年月

2019年12月

団体の目的・活動内容

課題をもつ子どもの支援者や保護者に対して子どもがそれぞれに合った支援のヒントを提供する活動に関する事業を行い、子どもたちの健全な育成に寄与することを目的としている。

活動歴

- ①子育て懇談会事業
- ②支援のヒントを学ぶ、学習会・講演会事業
- ③自立に向けての相談事業
- 4個別相談
 - ※保護者・支援者の思いから就労移行支援事業所と協働してペガサス就職塾を開設

団体情報

住所: 〒254-0014

平塚市四之宮2丁目24番17号

TEL: 0463-54-5197

Mail: sien.manabiya@gmail.com

URL: https://sienmanabiya.jimdofree.com

★助成した事業・活動

発達特性のある子どもの保護者などへの、 子育て懇談会、学習会の開催

★内容

「障害者親なきあと事例研究会」「思春期に大切なこと講演会」開催

★助成対象

物品購入費、通信費、講師謝礼

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

今回の助成金で、NPO法人しえんのまなび舎に1台しかなかったパソコンを増やすことができ、事務処理、講演会事業の広がり、パソコンを使っての作業など有効的に活用することが出来ました。そのことで、多くの会員の方へのお知らせやインターネットを使っての活動に広がりがみられました。

コロナ禍で会費や寄付金の収入が少ない中、助成を受けて、今までのように支援者を支援する活動ができましたこと、本当に有難く、感謝の思いでいっぱいです。

活動を止めなかったことで、不安に思われていた 保護者や支援者を微力ながら支えていくことがで きましたまた、勇気を頂きまして、今まで月に2回 だったサロンを毎週行っています。本当にありがと うございました。



メディカルアロマ講演会



Zoom講演会



思春期に大切なこと講演会



リモート研修

一般社団法人 湘南学校教育研究所(藤沢市) 代表 橋本 佐紀子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2018年5月

団体の目的・活動内容

(目的)

当団体は非営利型一般社団法人として、子どもの心身の 健全な育成を図るとともに、いじめや差別のない社会の 実現のため学校教育の発展を目指し、社会全体の利益 に貢献することを目的とする。

(活動内容)

人権擁護啓発事業(いじめ防止に関する授業・研修、貧困と虐待に関する講演・研修、男女共同参画と性に関する研修)、相談・コンサルテーション事業、支援者養成事業、放課後児童クラブ指導員・部活動指導員などを対象とした教育プログラム開発事業

活動歴

相談支援活動・人権理解啓発活動・他機関との研究活動を主とし、人権研修は、教育機関(小中学校・高等学校・大学) 40 校/年、企業・行政 30 回/年行っている。相談業務は、児童生徒・保護者だけでなく、医療従事者・教職員・経営者からも受けている。

団体情報

住所: 〒251-0044

藤沢市辻堂太平台1-15-6 シーサイドテラス壱番館C

TEL: 070-3839-8308

Mail: shonshon0390@gmail.com URL: https://sise01.webnode.jp/

★助成した事業・活動

相談支援活動、人権理解啓発活動

★内容

子どもを持つ母親等を対象とした相談事業 事業

★助成対象

SNS管理費、相談ボランティア活動費・交通費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

お陰様で2020年6月に始めたLINE メルマガおよびオンライン相談事業が間もなく1年となります。 コロナ禍でなくとも乳幼児を育てる養育者にとっては、スマホひとつで人とつながれること、子育てのヒントを得られること、ちょっと違和感を抱いたときに聞ける場所があること等の有効さを改めて感じることができました。

また、小学生を持つ養育者からは、悩み相談ではなく「今、ちょうど子どものことでガッカリしていた時に、このメルマガが届いて気持ちを切り替えることができました!」などの感想が届くこともあり、発信者である私たちがエンパワメントされました。

支援されるだけでなく、相互にエンパワメントし合えるプラットフォームとして、助成金終了後も続けていきたいと思います。多大なる応援を頂き、ありがとうございました。

<頂いた感想の一部>

おはようございます。

あと少しで冬休みなのに今日は、具合が悪いと言って学校に行ってくれませんでした。熱も下痢も咳もないのに。 私も仕事へ行くが迷い、気分が曇っていたとこへこのLINEが来て

くれてイライラをちょっとペースダウン出来ました ****** ありがとうございます。



オンライン相談の様子





配信しているメッセージの一部

特定非営利活動法人 DV対策センター (横浜市) 代表 穂志乃 愛莉 助成金額 79,000円

団体紹介

設立年月

2020年3月

(個人相談業務は、2018年1月より開始)

団体の目的・活動内容

当団体は、全ての女性と子供たちが夢と希望を育んで生きられる社会を目指して、活動しています。主に、DV・虐待被害者(以下被害者とする)に以下の救済支援を行っています。①DV・虐待被害の相談・心身の健康を取り戻すためのケア支援②対象者が避難するための支援④被害者が自立していくための支援(役所等への手続き代行、衣食住の支援、就業・就学支援⑤月に一度、母子家庭やDV被害者のための食品配布会の開催⑥その他、被害者の心身の健康・安全にかかわるすべての支援を行っております。

活動歴

8月までに相談13件、LINE相談26件、電話相談23件、Zoom相談3件、対面相談8件ありました。シェルターは、23名が利用しました。7月より、毎月第三日曜日に、無料食品配布会の開催(偶数月青葉区社会福祉協議会にて、奇数月ラフェリーチェにて開催。2021年3月まで催行決定)2021年10月新規シェルターOPEN予定。ママ向け就業支援2名、お子さん向け就学支援3名。

団体情報

住所: 〒227-0033

横浜市青葉区鴨志田町807番地5

TEL: 080-7821-4660
Mail: dv.taisaku@gmail.com
URL: dv.taisaku@gmail.com
LINE ID: dvtaisaku(ディータ)

★助成した事業・活動

DV·虐待被害者支援、生活困窮者支援

★内容

食品配布会 無料相談

★助成対象

人件費、会場費、消耗品費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

DV・虐待被害者は、潜在的には多いものの、なかなか声をあげられない、という課題があります。 食品配布会を行い、専門のカウンセラーを常時2~3人配置し、丁寧に話を聞くことに心掛けています。DVで逃げたい人だけでなく、DVで逃げたけど離婚してもらえない、養育費がもらえない等の悩みも多く聞いております。必要な方には避難のための道筋を示したり、弁護士先生に繋いだりなど、問題解決のために向けた提言をさせていただくこともあります。それをきっかけとして、新しい人生に向けて、大きな一歩を踏み出した方もいらっしゃいます。

当方では、コロナ対策を万全にしたDV・虐待被害者の方のための避難施設も運営しております。現在、地域の小中学校や様々な地域団体さんとの連携を深めています。今後DV・虐待に関するお悩み等ございましたら、是非お繋ぎいただけましたら幸いです。

食品配布会





2月 食品サンプル(スイーツ)作り





3月 アート体験





リンパ浮腫ネットワークジャパン(横浜市) 代表 岩澤 玉青 助成金額 92,600円

団体紹介

設立年月

2019年11月

団体の目的・活動内容

「リンパ浮腫」は、乳がんや婦人科がん等の治療後に発症する後遺症で、難治性疾患です。

リンパ浮腫ネットワークジャパン(リンネット)は、リンパ浮腫に関わるすべての人が、困ることなく笑顔で安心して過ごせる社会を目指して、患者支援と治療環境改善を実現するために昨年設立されました。

準備期間を経て春から活動をスタートし、仲間と出会い経験や知恵などを共有しながら支え合うおしゃべり会「なかまカフェ」や、正しい情報を学ぶ「リンパ浮腫セミナー」、リンパ浮腫に関係するがん患者会・支援団体や医療者が交流(ネットワークを構築)し、共に協力しあって活動できる関係づくりの場としての「ネットワーク・ラウンジ」などを開催しています。また、リンパ浮腫の「ワンストップの情報提供」を目指して、ポータルサイトの立ち上げを準備中しています。

活動歴

2019年11月 団体設立

2020年5月 リンパ浮腫セミナー(アメリカ乳がん卵巣がん 患者支援団体SHAREと共同開催)

6月・7月 なかまカフェ開催

8月 ネットワーク・ラウンジ(2日にかけて2回実施)

9月 リンパ浮腫セミナー「乳がんとリンパ浮腫」

団体情報

住所: 非公開

Mail: lymnet.lnj@gmail.com

URL:

https://www.facebook.com/LymphedemaNetworkJapan

助成した事業・活動

リンパ浮腫患者支援、情報提供、治療環境改善

★内容

コロナ禍における情報提供活動

★助成対象

講師謝金、通信費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は、リンパ浮腫ネットワークジャパン(リンネット)の活動にご理解とご支援をいただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大につき、感染リスクの高いとされるがん患者さん向けの企画をすべてオンラインに切り替えて実施しています。この助成のおかげで、リンパ浮腫で悩む人たちとオンラインで円滑につながり支え合うことができ、リンパ浮腫の正しい情報提供ができるようになりました。寄付をいただいた皆様のお気持ちが生かされるように、これからもしっかりと活動に取り組んで参りたいと思います。本当にありがとうございました。





聖マリアンナ医科大学病院乳がん体験者の会マリアリボン(川崎市) 世話人 堀内 美保 助成金額 52.600円

団体紹介

設立年月

2013年5月

団体の目的・活動内容

活動内容聖マリアンナ医科大学病院と関連病院 の乳がん体験者のために、おしゃべり会、医師によ る勉強会、イベント(リンパ浮腫、運動、手作り、アピ アランス)クリスマス会など参加人数は3787人(9月 18日現在)

活動歴

毎月のおしゃべり会(89回)、勉強会(42回)テーマ 別おしゃべり会(15回)クリスマス会(7回)世話人研 修(2回)手作り会(5回)運動イベント(4回)リンパ浮 腫イベント(2回)アピアランスイベント(2回)

団体情報

住所: 〒216-8511

川崎市宮前区菅生2-16-1 聖マリアンナ医科大学病院

がん相談支援

URL:

http://www.mariannau.ac.jp/hospital/kanja/sinryou /sinryoushisetsu_10/sinryoushisetsu_10/gansaron_0 6.html

★助成した事業・活動

乳がん患者の院内当事者会

★内容

オンラインおしゃべり会、勉強会

★助成対象

講師謝礼、通信費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

2013年5月より、院内患者会として、病院をお借 りして対面でのおしゃべり会、勉強会などを開催 し、もうすぐ8周年となります。これまでの参加者 は延べ3958名。

新型コロナウイルスにより、対面開催から、オン ラインズームでの開催に切り替えましたが、切り 替えには数々の困難がありました。

1年経ちますが、やっと少し慣れてきた感じがしま す。有料ズームの費用、機材など、たくさんの費 用がかかりましたが、助成金に助けていただきま した。助成金がなかったら、ここまでのことは、出 来なかったと強く思います。

これからも乳がんに苦しむ体験者の方たちのた めに、出来ることを探しながら、一人でも多くの体 験者の方に寄り添えるよう取り組んでいきます。

この度は、助成していただき、本当にありがとう ございました。

"今、を頑張っている貴方へか、

今新型コロナウィルスの影響で当たり前のことが当たり前に 行かはい世の中です。 とれる女ではお。 それな中、病名を告ずられてく人、手術を控えている人、治療中の人、 そして午街をは期されている方々の不安はますり知れません。 これは時、同心病を体験した人の話を聞きたい!! 自分の分の気持ちを吐き出したい!と見っている方もりなける ないと思います。 中には 絶望のう脚で自分の気持ちはま性にも分からまではい!

知らはい人と話すのは英理だと扇を閉じてしまっている方も いろかも知れません。よく分かります。私達もそりでして、。 あはたが今、孤独の中で立ちずくんでいても和達がします。 撃さリアンプには乳がん体験者の食マリアリボンがあります。 マリアリボンの活動のひょうにおしゃくり会(毎月1回)があります。 現在、コロナの影響で集ま、ての開催を見合わせている状況 ですが、オンラインに切り換えることを検討しています。 "今,が1番字のに、皆様にお会い出れないことは、社通も もどかしいです。私達は「今」を頑張っている方々に思いを夢せて います。お目に掛かれるのはもり少し先に「はりますが、

あはないは一人じゃない このメッセージだけ、今。届けさせてください。

乳がんける験者の会マリアリボンー同





医療関係者、乳がん体験者から寄せられたメッセージ



ユーコープ くらしたすけあい活動「ちょボラ」(横浜市) 代表 炭竃 正子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2006年6月

団体の目的・活動内容

ちょっとしたボランティア「ちょボラ」は『おたがいさま』を基本に困った時に地域で支えあう有償ボランティア。高齢者のみならず、障害者、子育て支援、病気、けがの方も対象に、神奈川県全域でユーコープの組合員の枠にとらわれず活動している。

活動歴

2006年「くらしたすけあいの会」発足。有償ボラ ンティア「ちょボラ」活動開始。

2012年「くらしたすけあい活動」と名称変更。 2019年度 ボランティア数320名(男性31名)、総 活動時間12475.5時間神奈川県の80% のエリアで活動。

2020年3月末から7月末まで感染症対策として活 動休止。8/1から再開。

2021年1月ボランティア数164名。

団体情報

〒221-0865 住所:

横浜市神奈川区片倉1-16-3 ユーコープ片倉店 3階

TEL: 045-594-7570 FAX: 045-594-7571

Mail: tasukeainet@ucoop.or.jp

★助成した事業・活動

地域のたすけあい活動

★内容

くらしたすけあい活動「ちょボラ」ボラン ティア交流会開催 ★**助成対象**

会場費、通信費、交通費、消耗品費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

今回2度目の助成を頂けたので、前回の全体交流 会に引き続き地域別交流会を開催いたしました。地 域によって活動に特徴があるため、小規模な集まり でボランティアと近く話し合うことができ、その地域な らではの困りごとに寄り添えたことは、とても良かっ たと思います。またボランティアの皆さんと今後のた すけあい活動の進め方についても意見交換できま した。今年度も昨年同様全員で集まることはあまり できないと思われますので、今回はとても良い機会 となりました。

又、コロナ禍に活動しているボランティアの皆さん に使い捨て手袋をお渡しすることもできました。

これからも地域に根付いたたすけあい活動を進め ていきたいと思っております。くらしたすけあい活動 に助成をいただきまして、どうもありがとうございまし た。

















ぐる一ぷ・ちえのわ ちえのわ第2ホーム(横浜市) 代表 奥山 雅子 助成金額 65,000円

団体紹介

設立年月 2009年4月

団体の目的・活動内容 団体の母体「ぐる一ぷ・ちえのわ」は1987 団体の母体「くるーふ・らえのわ」は1987年に障害児の親子、地域の有志、教員などが中心になり設立された民間のボランティア団体で、地域でキャンプや遊びの集いなどの活動を続けてきた。「まなぶ・あそぶ・つくもだす」を合言葉に、障害のある人もなったときといる。 をめざしている。

2009年の第2ホーム設立時より、発達障害 2009年の第2小一公設立時より、発達時 児・不登校児童生徒の学習支援、余暇活動 支援、居場所作り・保護者の相談活動を主 として行ってきた。地域のいろいろな年代 の方を対象とした染め、陶芸、織物など のアート活動等を行っている。

活動歴

ちえのわ第2ホームでは、特別な支援を必要と する子どもたちへの学習支援(ちえのわ寺子屋)、 不登校児童・生徒への学習支援(ちえのわルーム) 小集団での余暇支援活動(ちえのわサロン)、保 護者の方への相談活動などを行っている。 これまでの活動に対して、平成30年12月に 「障害者の生涯学習に係る文部科学大臣表彰」 を受けている。

団体情報

〒244-0004

横浜市戸塚区小雀町1115 ちえのわホーム

090-1251-0776(代表 奥山雅子)

現在ホームページ作成中

★助成した事業・活動

発達障害児・不登校児童生徒の学習支援 余暇活動支援

★内容

障害のある子どもたち、不登校の子ども たちのアート活動

★助成対象

材料費、講師謝金、ボランティア活動費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

今回の助成金のおかげで、家にひきこもりがちで あった不登校の小中学生や社会人の若者たちが、 家から出て、感染対策をとりつつ、個別の支援のも とで、染め物や織物、クラフト制作などに一生懸命 取り組む姿を見られたことは大きな収穫だった。本 格的なアート活動に取り組めたことで、彼らの気持 ちに少しでも達成感や充足感が生まれたのではな いかと思う。それが自己肯定感につながり、生きる 自信につながることを願いながら、今回の成果をこ れからの活動に活かしていきたいと考えている。

この助成金がきっかけとなり、地域の子どもたち、 若者たちとの新たなつながりが生まれたことも大き な収穫であった。今回の活動に参加した子供たちや 若者たちは、これからも来所したい意向を語ってい るので、活動が継続できるよう工夫していきたいと思 う。



ハーバリウムづくりに取り組む 様子と作品





藍染のTシャツづくり



さをり織り

ユニバーサル絵本ライブラリーUniLeaf (葉山町) 代表 大下 利栄子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2008年7月

団体の目的・活動内容

市販の絵本を解体し、ページの大きさに透明シートを切り、本文を点字化して挟み込んだ、英国発日本唯一のユニバーサルデザイン絵本の製作と貸出を行う。誰もが尊重され共に生きる社会の実現に貢献することを目的とし、絵本製作講座など、絵本をツールにユニバーサルデザインの理念の普及・啓発活動に取り組んでいる。

活動歴

2019年、蔵書が1000冊に到達、現在25家庭、4学校に定期貸し出ししている。県立逗子高校での絵本製作は10年目。

2019年度内閣府「子供と家族・若者応援団表彰」 内閣総理大臣表彰を受賞。

団体情報

住所: 〒240-0111

三浦郡葉山町一色1492-6

TEL: 非公開

Mail: info@unileaf.org
URL: http://unileaf.org

★助成した事業・活動

視覚障害者支援

★内容

多感覚遊びを通じた見える子と見えない子 の相互理解促進事業

★助成対象

物品購入費、謝金、会議費、交通費等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は念願の初ユニバーサルイベントに助成いただき有難うございました。意義は信じていたものの少人数に限られ、初めて会う子供たちの反応も読めず、不安もありました。が、開けてみれば日頃の触覚軽視を痛感し、会話も弾み、「楽しかった!」「すごくよかった」「見えなくても点字でスラスラ読んでいて同じだと思った」と期待どおりの感想が出されました。

イベント後はお手紙を出したいとの声が双方から上がり、上級生たちは少しでも点字で書きたいと学んでくれました。短時間ながら非日常のインパクトある交流になったのではないかと思います。

大きなことはできない、でも続けることはできる・・・共生社会に向けた小さな1歩を一人でも多くの方に体験していただき、視覚以外で生きることに思いを馳せてほしい、この後は「鎌倉街並みジオラマ」を訪れ触覚で鎌倉を楽しみ、さらなるユニバーサルの意識につなげていきたいものです。









特定非営利活動法人 レジスト(川崎市) 代表 齋藤 剛 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2012年10月

団体の目的・活動内容

障害を抱えていても当りまえに働き、暮らす社会づくりを目指し、川崎市にて精神障がい者の就労・生活支援、また、精神障がいピアサポート活動を行っています。

活動歴

①精神障がい者を対象に福祉事業所2か所(作業所・ グループホーム)運営

②川崎市委託事業で精神障がい者の自助(ピアサポート)支援事業も受託

団体情報

住所: 〒211-0025

川崎市中原区木月3-59-22

TEL: 044-948-8443

Mail: info@resistnpo.com

HP: http://resistnpo.com/wordpress/

★助成した事業・活動

医療・福祉従事者のメンタルヘルスをオン ラインで改善する事業

★内容

オンラインによるメンタルヘルスプログラムミーティングの開催

★助成対象

物品購入費、講師謝金、ボランティア活動費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は助成いただきありがとうございました。

コロナウィルス感染拡大の状況で刻々と変わるご 時世の中、僕たち医療・福祉従事者にとっても過酷 な事態となりました。休業要請はなく、患者さん・利 用者さんのために必要な支援を続けていく中で、た くさん迷ったり、特別な対応を考えなくてはなりませ んでした。

そのなかで、オンラインを活用し、語ったり、自分を見つめ直したりできる場は、このコロナ時代にとても必要なことだと実感しています。

実際、規模は小さいながら賛同いただけた医療・福祉従事者が集まりオンラインアプリZoomを活用して平日夜に5回のミーティング、2回の内部研修という形で事業を行いました。

語り合う中でほっとできたり、同じ苦労だったり、明日からまたがんばろうと、思わせていただきました。この助成事業で活動したことを踏まえて、次の活動につなげていきたいと思います。



愛川芸術就継Bみらいのあいの家設立準備室(愛川町) 丸茂 かつ江 助成金額 45,000円 代表

団体紹介

設立年月 2018年8月

団体の目的・活動内容

主に地域の障がいのある方を対象に専門家によるアートと音楽の芸術活動を行い、地域の触れ合いの中で社会的な自立支援を推進し、将来アート が仕事として活躍できる就労支援施設の設立を目的として活動しています。

活動歴

- ・主に福祉施設や就労支援事業所に通われる方、 養護学校や小学校の学習室の児童を対象に、一般 の人も含め、アートと音楽の様々な芸術体験講座を 実施(2019年~)
- ・障がい者アート公募展を開催し、応募された作品を基にカレンダーやオリジナル商品を制作し、障がい者アートの啓蒙と将来仕事へつながる機会がで きるように活動(2020年~)
- ・障がい者アートを広めるためにパラアート作品展を 開催予定(2021年4月予定)

団体情報

住所: 〒243-0303 愛甲郡愛川町中津3625-5

TEL: 080-3444-2361 Mail: info@mirainoainoie.jp

URL:

http//:mirainoainoie.jp/mirainoainoie.sakura.ne.jp

★助成した事業・活動 「学校巡回芸術体験講座」による障がい

児童生きがい支援

★内容

陶器の「招き猫貯金箱」に自由に絵付けを 行う特別授業

★助成対象

交通費、物品購入費、消耗品費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

アートを通して通常の学校の授業では体験できな い芸術体験を心がけています。今回陶芸で作った 招き猫貯金箱を題材にしたのは、陶器という本物に 触れることと、招き猫の意味の一つとして友達をたく さん招くということも考えて決めました。子供たちは 貯金箱というイメージが強いと思いますが、心の貯 金をして友達を増やしてほしいと願って、世界に一 つの自分だけのものを作ることに夢中になってくれ ればと思いました。そんな話も生徒さんにさせてい ただきました。それだけに今回学校では予算外の費 用がかかるところだったのですが、助成金を受けた ことをお話しし、負担もかからずに済み、本当に喜 ばれました。その日に学校のブログに授業の様子を 掲載していただき、今後も学習室とのきずなが継続 できることを強く要望されました。それに応えるため にも、これからももっと生徒さんが自分を表現するこ とに夢中になれるアート体験講座を提案していきた いと思います。



















特定非営利活動法人 南えびなスポーツクラブ(海老名市) 代表 小林 直樹 助成金額 61,320円

団体紹介

設立年月

2017年12月

団体の目的・活動内容

「幼児からお年寄りまで、いろいろなスポーツ、 レクリエーションを定期的に長期にわたって仲間 とともに楽しむ」ことを理念に掲げています。

活動歴

- ・フットサル、卓球(幼児からお年寄り、障がいを持つ方)
- ・ダンス(小学生から年配女性)
- ・キックボクシング(若者、女性)
- •野外活動(年配者)
- ・ボッチャ、フライングディスク(障がい者中心)

団体情報

住所: 〒243-0417

海老名市本郷5030

TEL: 080-1084-5585

(理事 小林直樹)

Mail: soccer-koufu@live.jp

★助成した事業・活動

高齢者、障がい者を対象としたスポーツ活動

★内容

森林浴&ウォーキング、ボッチャ企画

★助成対象

会場費、謝金、交通費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

特定非営利活動法人 南えびなスポーツクラブでは「幼児からお年寄りまで、いろいろなスポーツ、レクレーションを定期的に長期に渡って、仲間とともに楽しむ」というのを理念に掲げて活動しています。その中で、年配者の野外活動や車いすの方や半身不随の方など障がいを持つ方のスポーツ活動も、少しずつ広がり活発になってきました。

昨年からのコロナ禍の中、当クラブの活動も自粛期間は、縮小して活動しました。緊急事態宣言が明け、自宅で過ごすことが多い年配者が森林浴で歩き、途中でストレッチ体操を取り入れました。市内ウォーキングでは、地元の名産品を、生産者より直接、話を聞き、味わうことができ、地元に密着し、地元をより知ることができました。これらは、今回、特別に企画しその分を助成していただき、たいへん充実した、良い活動となりました。

「ボッチャ」は参加者が少しずつ増え、盛り上がりました。 毎週、必ず参加する方もおり、生活の一部分となっているようです。「ボッチャ」の後も「フライングディスク」や「卓球」も楽しんでから帰るという方もあり、いろいろなスポーツを取り組んでいます。障害を持つ方は無料で参加しましたが、会場利用、用具利用料などその分を助成していただき、たいへん、ありがたく思っています。





特定非営利活動法人 リンクトゥミャンマー(横浜市) 代表 市原 彩子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2017年3月

団体の目的・活動内容

ミャンマー人を中心とした在日外国人に対して定住支援を行い、日本社会における在日外国人の円滑な定住を促進し、人権擁護や国際協力に寄与す 実施しています。具体的には通訳や翻訳を通じた公的機関での対応方法の教授、買い物同行、医療通訳、契約書読解など、必要なことは何でも対応します。そしてミャンマー人と日本人によるNPO運営を行いながら、即本人と外国人の共生社会思想を 外国人の中長期的な自立生活への形成を目指しま

活動歴

- 2017年4月~2021年3月 在日ミャンマー人定住支援 2017年~2019年 文化交流イベントでの出展 2020年3月 ラカイン州パレーヤーダナー寺院学校 保健室建設支援完了
- ・2020年10月 在日ミャンマー人のためのセーフティー 情報サイト公開

団体情報

〒236-0051

横浜市金沢区富岡東6-30 E502

TEL: 045-567-5858 Mail: info@npoltm.org

URL: https://www.npoltm.org/

★助成した事業・活動

外国人難民・移民・留学生(主にミャンマ -人)の相談事業

★内容

コロナ関連通訳·翻訳支援、定住支援 ★**助成対象**

支援スタッフ人件費、交通費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

かながわ生き活き市民基金から助成を受けましたこと心より感謝申し上げます。新型コロナウイルスの影響で、在日ミャンマー人たちは失業や雇い止めを受けるなどして、生活困窮に陥る人が増えました。私たちはそれに対し、公的支援の申請支援、労働相談、アルバイト面接同行、履歴書の添削、日本高しかるで苦しんでいる中で、なぜ外国人を支援にしてまいりました。日本人もコロナで苦しんでいる中で、なぜ外国人を支援にあった。自分の懐事情が厳しくても、外国人またミャンマー人に救いの手を差し伸べることで、今後長期的な目で日本社会に恩恵をもたらすと思っております。その一例として、東日本大震災直後、多くのミャン かながわ生き活き市民基金から助成を受けました その一例として、東日本大震災直後、多くのミャンマー人が被災地に赴き支援活動に従事したことが

学げられます。 今後も日本人とミャンマー人が心を通じ合いながら、幸せに暮らせる社会を築いていけるよう事業を 続けてまいります。改めて、皆様のご支援に感謝申

し上げます。









一般社団法人 アマヤドリ(葉山町) 代表 菊池 操助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2020年12月

団体の目的・活動内容

孤独や居場所のなさを抱えている18歳以上の 若者がそれぞれの望む未来に向けたスタート ラインに立てるようにサポートすること

活動歴

団体情報

URL: https://www.amayadori-official.net

★助成した事業・活動

女性の自立に伴走するステップハウス

★内容

ステップハウスアマヤドリ

★助成対象

賃借料

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

立ち上げ期で資金不足の時に、まず応援してくださったのがかながわ生き活き市民基金でした。一番大きな支出となる賃料をご支援いただきました。おかげさまで居場所がない女性に緊急で住まいを提供することができました。

18歳を過ぎると、社会的養護の対象外の年齢となり、若者は多くの支援を失います。しかし、実際はまだ経済的にも精神的にも、社会に出る準備段階の若者が多く、既存の支援の隙間で追い詰められている状況があります。

そんな若者たちが、自分の望む未来に向けたスタートラインに立てるよう、「住居」と「未来づくりのためのサポート」を提供するステップハウスアマヤドリを作りたいという、私たちの想いを応援してくださり、本当にありがとうございます。これからも活動に注力していきます。



スタッフ研修



ステップハウスの内観



見学の女性たち



料理教室(スタッフの子どもと)

ちゃりTea屋♪(横浜市)

代表 相澤 明春 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2017年4月

団体の目的・活動内容

- ・日本各地の甚大な被害を受けた被災地において、 常識と前例に捕らわれず被災者の立場に寄り添っ た最適な支援活動を展開します。
- 自ら課題を設定し、各々が幅広い知識を身につけ、 心身を鍛練し、自己の成長をめざします。
- ・被災地支援活動と未災地での防災・減災活動を積 極的に行動を起こし、被災地の復興と未災地の地 域社会との双方に貢献するよう努めます。
- ・未災地と被災地の双方によりよき社会をめざすこと を誓い、そして未災地の支援の手と被災者の手を つなぐ、その架け橋となる団体をめざします。

活動歴

<2020年度の活動>

- 、2020年度の活動/ ・相模湖近郊にて子ども食堂へコロナ支援 ・九州豪雨災害支援募金活動 ・学生向け災害を援講話「支援」って何だろう
- Meeting♪開催
 ・「ながぬまとよのマルシェ」イベント会場出店
- ・熊本県球磨村仮設住宅にてぜんざい炊き出し

団体情報

住所: 非公開

TEL: 090-1110-7742 Mail: chariteaya@gmail.com URL: https://m.facebook.com/-

342624506363573/

★助成した事業・活動

被災地支援活動

★内容

新型コロナウイルスと激甚災害の双方に 悩まされている熊本県内の芦北、人吉 市での被災地支援活動

★助成対象

レンタカー代、運搬費、食材購入費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

今回の活動は主に「食の支援」「こども支援」 「地域コミュニティ活性」を視野に入れた活動を新型コロナウイルスと昨年の激甚災害の双方に悩まされ ている熊本県内の芦北町、人吉市で展開して参りま した。

実際に現地の方々からは、「地域のみなさんが開催以来から本当に楽しみにしているようでした。熊本県内は独自の緊急事態宣言を発令し、イベントや催事がしばらくできない状況でした。 ス々のアナル ですごく賑やかでとても楽しかったです!コロナ禍 ですごく賑やかでとても楽しかったです!コロナ禍の活動、たいへんかと思いますが、忘れられた感がある人吉球磨…誰かが来てくれるだけで被災者さんたちホッとします。その上美味しい炊き出しにお手伝いに来たお母さんたちも元気いっぱいで帰られましたので本当に良かったです。笑顔&活気をありがとうございました」とのお言葉を頂きました。 支援者と被支援者が共に前向きになれるような活動にできたかと思います。この度はご協力誠にありがとうございました。

がとうございました。

熊本芦北 焼きそば炊き出し宅配イベント



~芦北 炊き出しイベントのご案内~





石川 和宏 Café de FUKUSHIMA(横浜市) 代表 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2015年1月

団体の目的・活動内容

2011年3月26日、楢葉町・広野町・いわき市で被 災者のみなさんに水や食料を横浜から届けること から始まり、いわき市・福島市・二本松市・南相馬 市・郡山市・本宮市・三春町・河内村・川俣町に於い て、南相馬市(含む小高区)・浪江町・富岡町・双葉 町・大熊町・飯舘村・葛尾村・川内村から避難してい る方々が住む復興住宅などで、避難者・被災者向 けの交流会を開催し、支援を行っています。

活動歴

-2015年からの累計で仮設住宅や復興住宅410ヶ所 を訪問、支援した被災者・避難者9,183名、支援者な どを含めた総数は10,257名。

・コロナ禍では福島県の大学生、留学生、シングル マザーへの食支援を行っています。

団体情報

住所: 〒236-0052

横浜市金沢区富岡西3-14-21

TEL: 045-775-0104 FAX: 045-775-0104

Mail: ishikawa216@gmail.com URL: http://311fukushima.org/

★助成した事業・活動

原発・津波被災地での新型コロナ困窮者 支援活動

★内容

福島県・宮城県での食料支援活動

★助成対象

食材費、交通費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

助成金を頂き今回支援したのは、原発事故や津 波で家族や地域社会のネットワークが寸断され、生 活が苦しい方々でした。その存在すら世間に知られない・忘れられ、取り残されている方々です。2011年 3月から支援を続けていますが、この度は助成金が あって食料支援をいつもより手厚くできました。生活 弱者がコロナ禍で苦しくなったのは報道されていま すが、原発被災者の場合はコロナ禍で「追い打ち」 に遭ったことになります。 支援のために宮城県・福島県には毎月横浜から

出かけており、被災地の困窮事情には通じております。支援先はたくさんあり、まだまだ十分ではありま せん。それでも誰かがなされなければ、それさえ届

きません。 食料を送った福島県のあるひとり親家庭の支援を ないなからかのような手紙を頂きました。 及科を送つに協局県のめるひとり親家庭の支援をしているNPOから次のような手紙を頂きました。
・「温かい支援改めて心より厚く御礼申し上げます。
物資が届いた後に『○○が入ってたね!すごくおいしかった!』と喜びながら教えてくれる子や、食べ物の絵をかいて送ってくれる子どもたちがいます。
・コロナの影響で生活が苦しくなっているひとり親 家庭の方も増える一方です。









新型コロナ対応緊急応援助成(第1次~第4次)の取り組み

1) 助成活動の概要

	第1次	第2次	第3次	第4次	合計
対象期間	4~5 月	6~8 月	10~12 月	1月~3月	
募集期間	4/23~30	6/8~15	9/8~16	$12 / 1 \sim 7$	
助成実施	5月	6月	10 月	2021年1月	
助成団体	29 団体	44 団体	64 団体	50 団体	187 団体
助成金額	2,061,986 円	4,025,000 円	5,000,000 円	4,026,437 円	15,113,423 円
助成プロ	福祉たすけあい基金助成のもとに新		生活協同組合ユー	生活クラブ組合員カンパ	
グラム	たに設置した緊急助成プログラム		コープのオーダー	福祉たすけあい基金緊急	
			メイドプログラム	助成プログラム	
助成原資	新型コロナ緊急寄付募集による寄付		生活協同組合ユー	生活クラブ組合員カンパ	
	金 6,252,550 円の活用		コープ組合員募金	福祉たすけあい基金助成	
			500 万円活用	積立金	

2) 新型コロナ対応緊急応援助成への寄付

	取り組み主体	期間	件数	金額
新型コロナ対応・緊急寄付(個人)	かながわ生き活き市民基金	2020年4月23日	170	3,643,367 円
新型コロナ対応・緊急寄付(団体)	かながわ生き活き市民基金	~8月31日	30	2,609,183 円
ユーコープ組合員寄付	生活協同組合ユーコープ	2020年 6月		5,000,000 円
生活クラブ組合員寄付	生活クラブ生活協同組合	2020年11月	2,205	3,412,000 円
合計				14,664,550 円

3) 助成団体活動分野

活動分野	第1次	第2次	第3次	第4次	合計
フードバンク/生活困窮者支援活動	4	5	7	6	22
子ども食堂・地域食堂/食支援活動	11	14	22	18	65
こどもの居場所活動	3	4	5	2	14
無料学習支援	2	4	6	5	17
相談支援	2	3	4	2	11
発達障がい支援、障がい者支援(難聴、就労継続支援B型など)	4	5	7	7	23
ガン患者・児支援、難病当事者会	1	3	4	2	10
移動サービス(高齢者/障がい者)			2		2
配食サービス、買い物代行、生活支援サービス	1	2	1	2	6
フリースペース (不登校支援) /ひきこもり支援、居住・就労支援		2	1	2	5
キャリア教育支援/子どもの人権・いじめ・DV被害サポート	1	2	3	3	9
地域イベント			2		2
被災地支援				1	1
合計	29	44	64	50	187

4) 行政区別内訳

	第 1 次	第2次	第3次	第4次	延べ
横浜市	8	14	28	21	71
川崎市		1	4	3	8
相模原市	5	3	6	5	19
座間市	1	1	1		3
綾瀬市			1	1	2
伊勢原市			1		1
大和市			2	1	3
海老名市				1	1
愛川町				1	1
横須賀	2	2	2	3	9
葉山町		1		2	3
逗子市		1			1
鎌倉市		1	2		3
藤沢市	6	10	6	6	28
茅ケ崎市	1	3	3	2	9
平塚市	3	3	3	2	11
二宮町	1	1	1		3
中井町		1			1
小田原市	2	2	3	2	9
箱根町			1		1
合計	29	44	64	50	187

団体数	福祉たす けあい助 成団体	新規助成 団体
40	7	33
6		6
9	1	8
1	1	0
1		1
1		1
2	1	1
1		
1		
5	1	4
2		2
1		1
3	1	2
11	1	10
4	1	3
5	2	3
2		2
1		1
3	1	2
1		1
100	17	83

生活クラブ生協 組合員カンパ金 3,412,000 円を

「新型コロナ対応 第4次緊急応援助成」に寄付いただきました



新型コロナに立ち向かう市民活動を支援!

新型コロナ対応





第 4 次緊急応援助成

私たち一人ひとりの参加が、地域を、人を応援する 大きな力にするために!ご協力お願いします!



10

1. 000円



- ●新型コロナの収束が見えない中、コロナ禍で多くの人々が社会的孤立を深め、とりわけ社会的に弱い 立場の人々への影響が広がりました。一方で地域では、そのような人たちを支援しようと、コロナ禍で 立ち向かう力強い市民の活動が始まりました。
- ◆生活クラブでは、このような地域のたすけあいを進める市民団体、非営利組織を応援するためのカンパを実施します。カンパは、(公財)かながわ生き活き市民基金で実施の「新型コロナ対応第4次緊急応援助成」への原資として活用します。

カンパの申込方法

注文書でのカンパ申込みは11/20(金)まで!

注文番号

インターネット注文eくらぶでも申込めます。

●注文書での申込み方法

10/26(月)~11/20(金)**までに提出する 注文書裏面、「6 桁番号記入欄」に

右記の注文番号を、数量欄に申込口数を 記入してください。

※申込締切は配達日によって異なります

- ●1 □ 1,000 円で何口でも申込めます。
- ●1日1,000日(同日(も中区のより

|支払い万法 |共同購入と一緒に引落します。集金月は、集金明細表でご確認ください(「新型コロナ対応緊急応援カンパ」と記載)。

です。

一 新型コロナ対応

第1次-第2次緊急応援助成団体実績

活動内容	団体数
地域のフードバンクによる食支援	5
子ども食堂・地域食堂等による食支援	15
子ども支援事業	7
無料学習支援 (オンライン学習会など)	4
子育で相談事業	5
その他(がん意児・者、家族支援、 DV被害者支援、障がい児・者支援等)	14



「新型コロナ対応緊急応援助成」について 詳しい取り組み内容、助成団体の詳細は、 ウェブサイトで紹介されています!

カンパ金は非課税、割戻し対象外。班購入では4%還元対象外



Zoom で 工作教室



お問合せ

生活クラブ神奈川 たすけあいネットワーク事業部 TEL:045-472-8101 月~金 9

月~金 9:00~17:00

寄付文化の拡がりに皆様のご協力を ~市民基金を支える寄付方法~

「賛助会員」として応援する

公益財団法人かながわ生き活き市民基金は、助成事業、研修・セミナー事業、相談・助言事業、広報発行事業の4つの事業を行っています。当財団を継続的に支援してくださる「賛助会員」を募集しています。(賛助会費は当財団の運営に活用されます)

賛助会費は当財団への寄付となり、税制優遇措置の対象となります。

【年会費】

- ◆個人会員(1口 1,000円)1口以上
- ◆法人·団体会員(1口10,000円)1口以上

【特典】

- ◆各種報告書の送付(年次報告書、助成団 体報告書「福祉たすけあい基金Book」、フォーラ ム報告書)
 - ◆ 当財団が企画開催するイベントへのご招待 (フォーラム、贈呈式等)

【お申込み方法】

◆ゆうちょ銀行から振込 記号番号 00250-0-72370 ザイ)カナガワイキイキシミンキキン

◆ゆうちょ銀行以外から振り込み

ゆうちょ銀行 店名:〇二九店

口座番号:0072370

ザイ)カナガワイキイキシミンキキン

※通信欄に「賛助会費」とご記入ください。

「福祉たすけあい基金」への 寄付で応援する

◆基金の用途

皆様より戴いたご寄付は、「福祉たすけあい基金」の 原資として蓄積し、神奈川県内で福祉・たすけあいの 市民活動や事業を行う団体・市民グループへの助成 金としてお届けいたします。

なお、寄付金の35%は助成等を行うための法人運営費用として大切に使わせていただきます。

◆寄付金額

1年間1口1,200円となります。1口単位でご寄付可能です。

◆お申し込み方法

寄付の方法は、「口座引落(継続)」「口座振込(単年)」(左記、賛助会員と同じ口座)「現金書留」よりご希望の方法をご選択ください。

詳しくはホームページをご参照ください。

税制優遇について

- 当財団は公益法人です。公益法人への寄付は、 税制上の優遇措置が受けられます
- 個人の方は所得税、住民税が控除の対象となります。
- 法人の方は1年間の寄付の総額の一定額を、損金に算入することができます。
- 詳しくは、お近くの税務署等に お問い合わせください。





























かは<mark>がは生き活き市民基金</mark>

発行:公益財団法人 かながわ生き活き市民基金

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル 6 F

 ${\tt Tel:045-620-9044} \qquad {\tt Fax:045-620-9045}$

Mail: info@lively-citizens-fund.org

URL : http://www.lively-fund.sakura.ne.jp

Facebook: http://www.facebook.com/livelycitizensfund

発行日: 2021 年 6 月 30 日 発行部数: 800 部